

2. アンケート調査結果

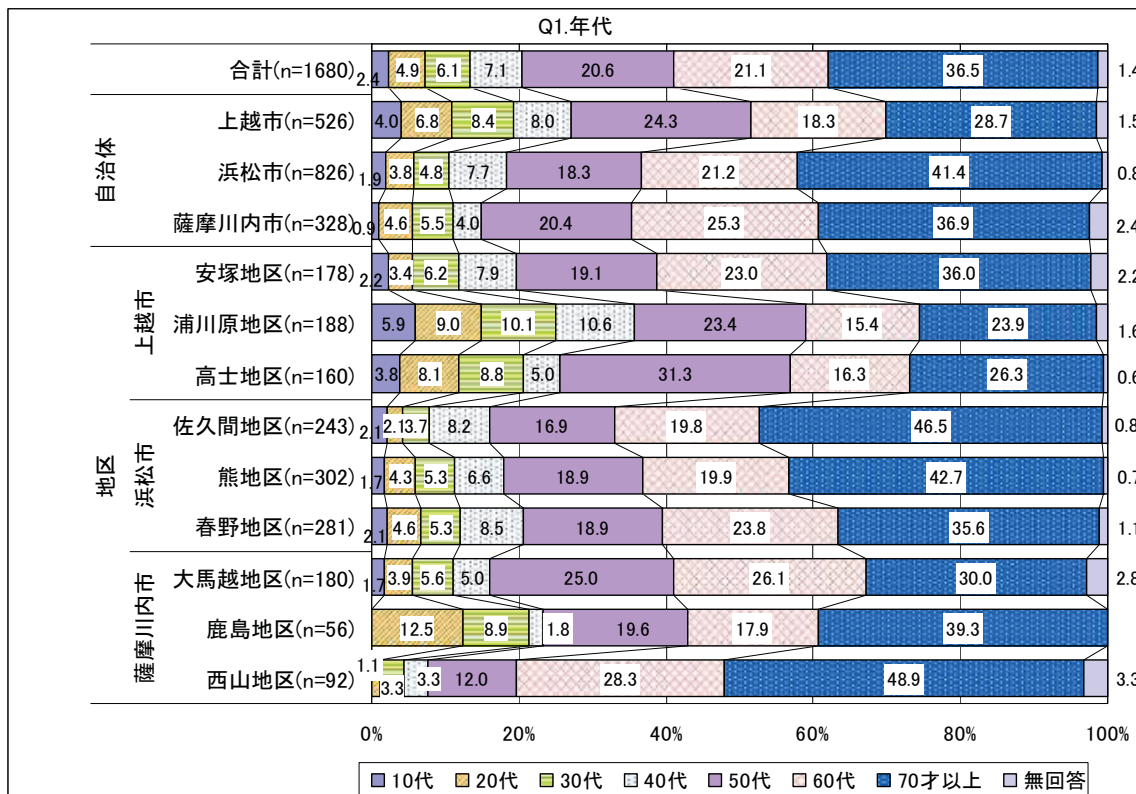
(1) 回答者属性

- ・ 回答者は 50 代以上が約 8 割と多く、男女比は約半数であった。また、高齢者が多いために、無職の人が多くみられた。
- ・ 高齢者が多いことを受け、居住歴はいずれの地域でも 40 年以上との回答が多かったが、薩摩川内市は 5 年未満との回答も 1 割以上あった。また、今後の居住予定については約 7 割が今後ずっと住み続ける予定との回答であったが、10~20 代では約 2 割であった。

①年代

- ・ 高齢者の割合が全体的に多く、特に薩摩川内市西山地区では 50 代以上が約 9 割を占めた。

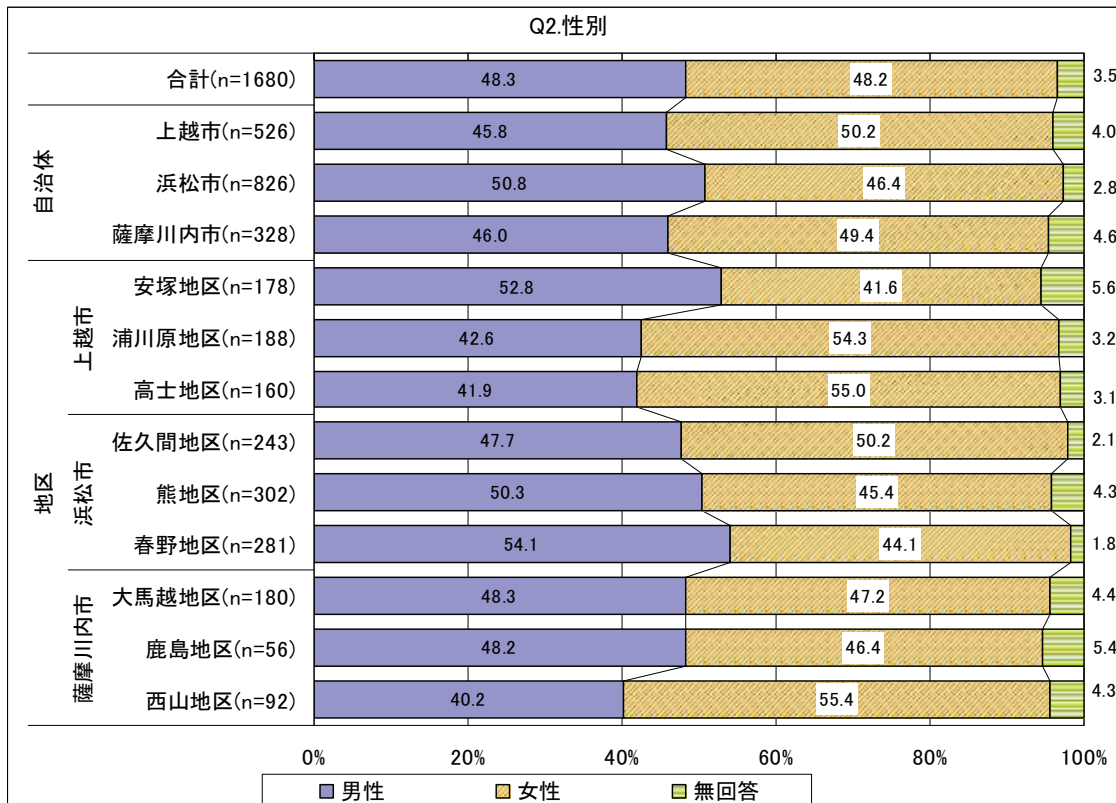
	全体	Q1.年代							無回答
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	
合計	1680	40	82	102	119	346	354	614	23
自治体									
上越市	526	21	36	44	42	128	96	151	8
浜松市	826	16	31	40	64	151	175	342	7
薩摩川内市	328	3	15	18	13	67	83	121	8
地区									
上越市安塚地区	178	4	6	11	14	34	41	64	4
上越市浦川原地区	188	11	17	19	20	44	29	45	3
上越市高士地区	160	6	13	14	8	50	26	42	1
浜松市佐久間地区地区	243	5	5	9	20	41	48	113	2
浜松市熊地区	302	5	13	16	20	57	60	129	2
浜松市春野地区	281	6	13	15	24	53	67	100	3
薩摩川内市大馬越地区	180	3	7	10	9	45	47	54	5
薩摩川内市鹿島地区	56	0	7	5	1	11	10	22	0
薩摩川内市西山地区	92	0	1	3	3	11	26	45	3



②性別

- 性別はいずれの地区も男女約半数であった。

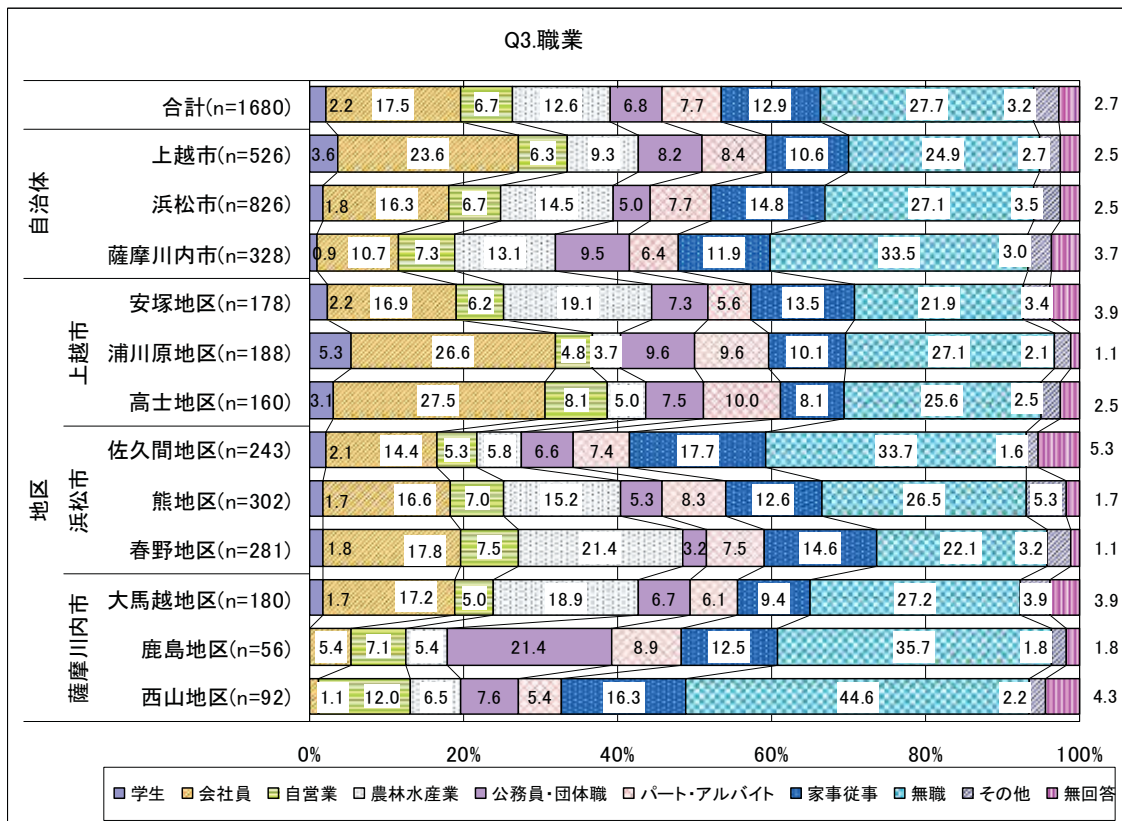
	全体	Q2. 性別		
		男性	女性	無回答
合計	1680	812	809	59
自治体				
上越市	526	241	264	21
浜松市	826	420	383	23
薩摩川内市	328	151	162	15
地区				
上越市安塚地区	178	94	74	10
上越市浦川原地区	188	80	102	6
上越市高士地区	160	67	88	5
浜松市佐久間地区地区	243	116	122	5
浜松市熊地区	302	152	137	13
浜松市春野地区	281	152	124	5
薩摩川内市大馬越地区	180	87	85	8
薩摩川内市鹿島地区	56	27	26	3
薩摩川内市西山地区	92	37	51	4



③職業

- ・ 「無職」との回答がいずれの地域でも多く、次いで「会社員」、「家事従事」、「農林水産業」との回答が多くみられた。

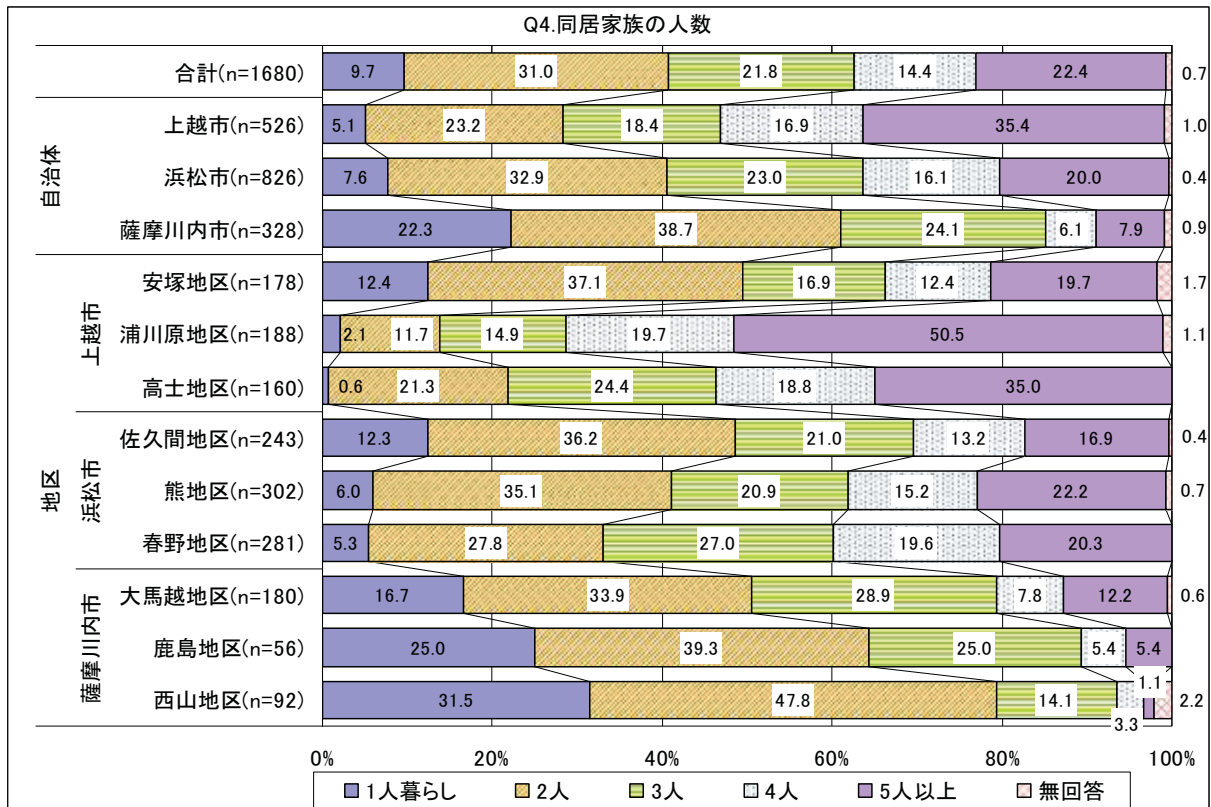
	全体	Q3.職業										
		学生	会社員	自営業	農林水産業	公務員・団体職	パート・アルバイト	家事従事	無職	その他	無回答	
自治体	合計	1680	37	294	112	212	115	129	217	465	53	46
	上越市	526	19	124	33	49	43	44	56	131	14	13
	浜松市	826	15	135	55	120	41	64	122	224	29	21
	薩摩川内市	328	3	35	24	43	31	21	39	110	10	12
地区	上越市安塚地区	178	4	30	11	34	13	10	24	39	6	7
	上越市浦川原地区	188	10	50	9	7	18	18	19	51	4	2
	上越市高士地区	160	5	44	13	8	12	16	13	41	4	4
	浜松市佐久間地区地区	243	5	35	13	14	16	18	43	82	4	13
	浜松市熊地区	302	5	50	21	46	16	25	38	80	16	5
	浜松市春野地区	281	5	50	21	60	9	21	41	62	9	3
	薩摩川内市大馬越地区	180	3	31	9	34	12	11	17	49	7	7
	薩摩川内市鹿島地区	56	0	3	4	3	12	5	7	20	1	1
	薩摩川内市西山地区	92	0	1	11	6	7	5	15	41	2	4



④同居家族の人数

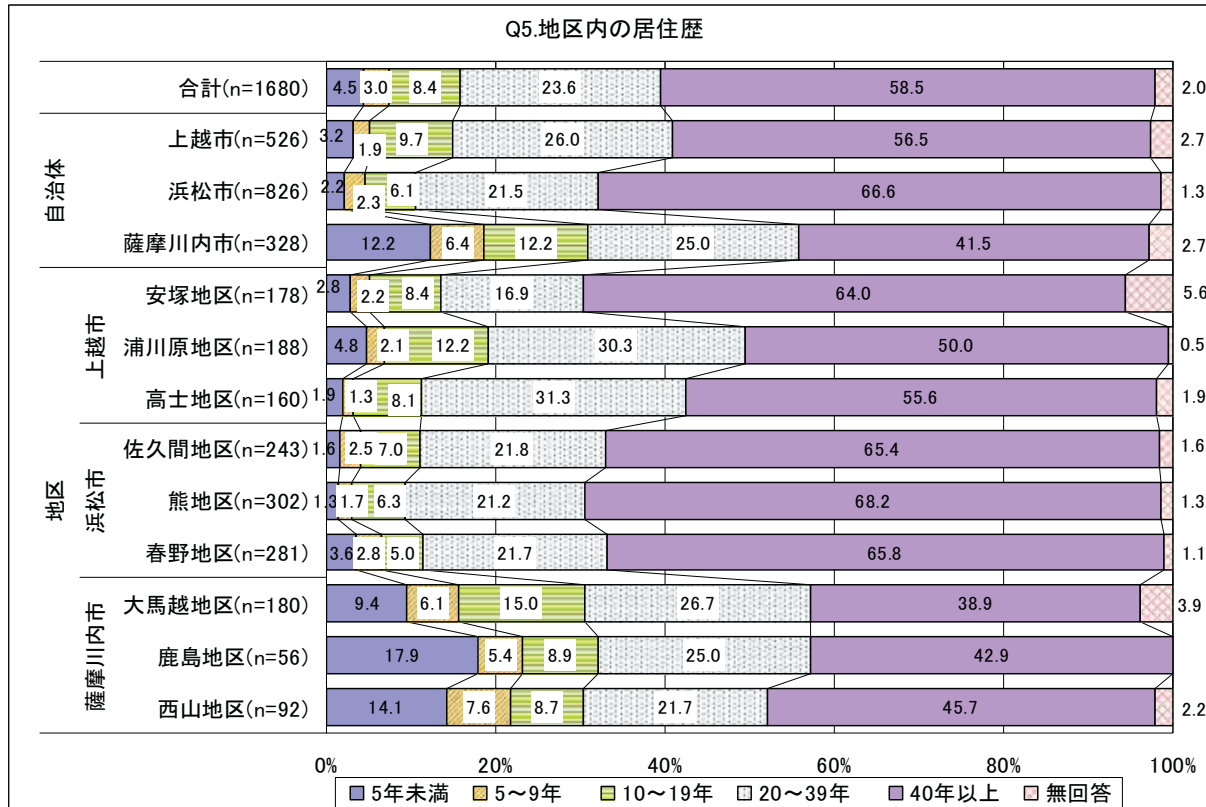
- 同居家族の人数は、上越市が「5人以上」との回答が多かったのに対し、薩摩川内市では「1人暮らし」との回答が多くみられた。

		全体	Q4. 同居家族の人数					無回答
			1人暮らし	2人	3人	4人	5人以上	
合計		1680	163	521	366	242	377	11
自治体	上越市	526	27	122	97	89	186	5
	浜松市	826	63	272	190	133	165	3
	薩摩川内市	328	73	127	79	20	26	3
地区	上越市安塚地区	178	22	66	30	22	35	3
	上越市浦川原地区	188	4	22	28	37	95	2
	上越市高士地区	160	1	34	39	30	56	0
	浜松市佐久間地区地区	243	30	88	51	32	41	1
	浜松市熊地区	302	18	106	63	46	67	2
	浜松市春野地区	281	15	78	76	55	57	0
	薩摩川内市大馬越地区	180	30	61	52	14	22	1
	薩摩川内市鹿島地区	56	14	22	14	3	3	0
	薩摩川内市西山地区	92	29	44	13	3	1	2



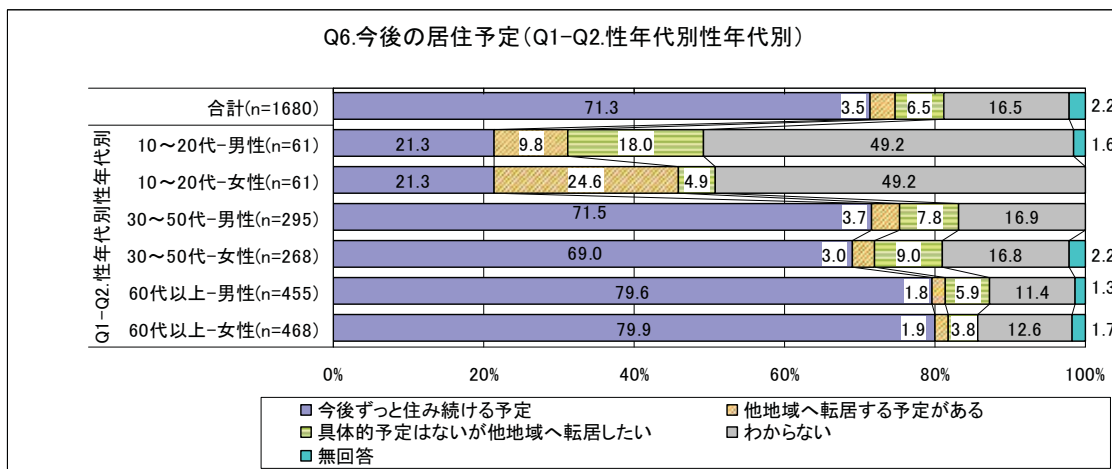
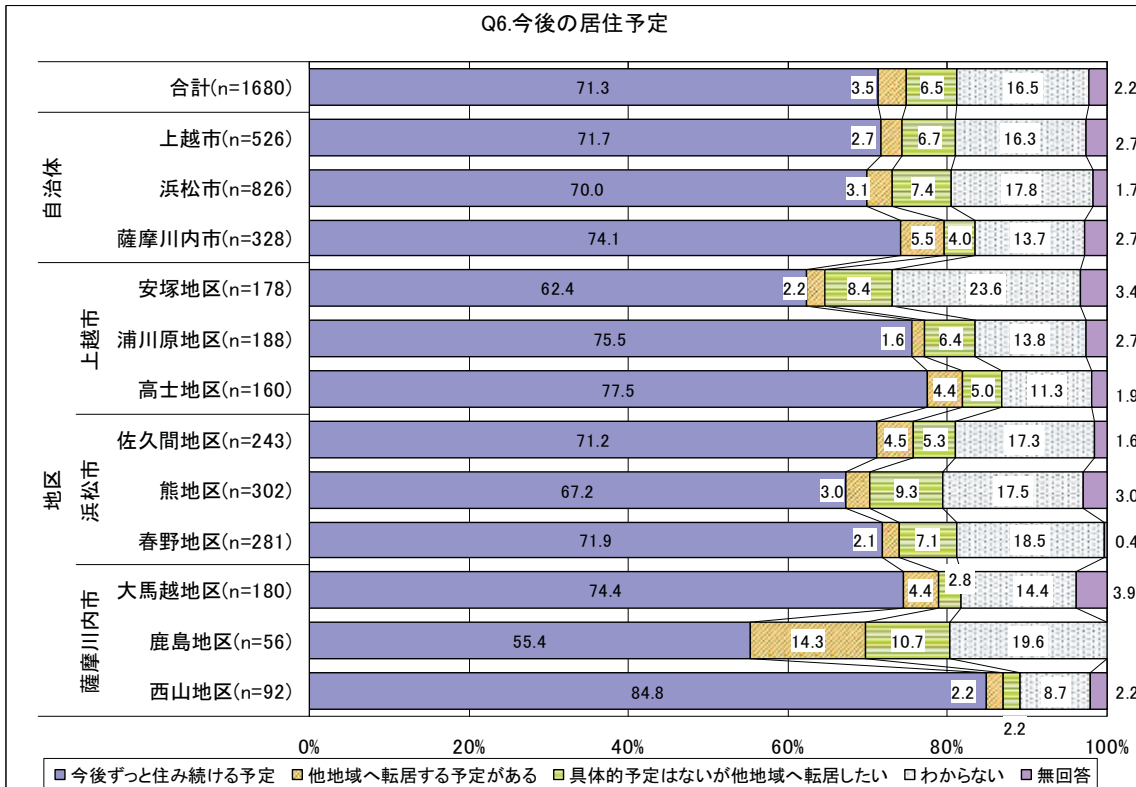
⑤地区内居住歴

- ・ 高齢者の回答者が多かったために「40年以上」との回答が多く、上越市、薩摩川内市では過半数を超えた。一方で、薩摩川内市については、「5年未満」との回答も他の2市に比べて多かった。



⑥今後の居住予定

- 6~8割が「今後ずっと住み続ける予定」との回答であった。ただし、薩摩川内市鹿島地区で、「他地域へ転居する予定がある」、「具体的予定はないが他地域へ転居したい」との回答が2割を超えており、他地域に比べて転居意向がある人が多くみられた。
- 性年代別にみると、10~20代では「今後ずっと住み続ける予定」との回答は2割にとどまり、「他地域へ転居する予定」「具体的予定はないが他地域へ転居したい」という転居意向のある回答があわせて3割程度、半数近くが「わからない」との回答であった。

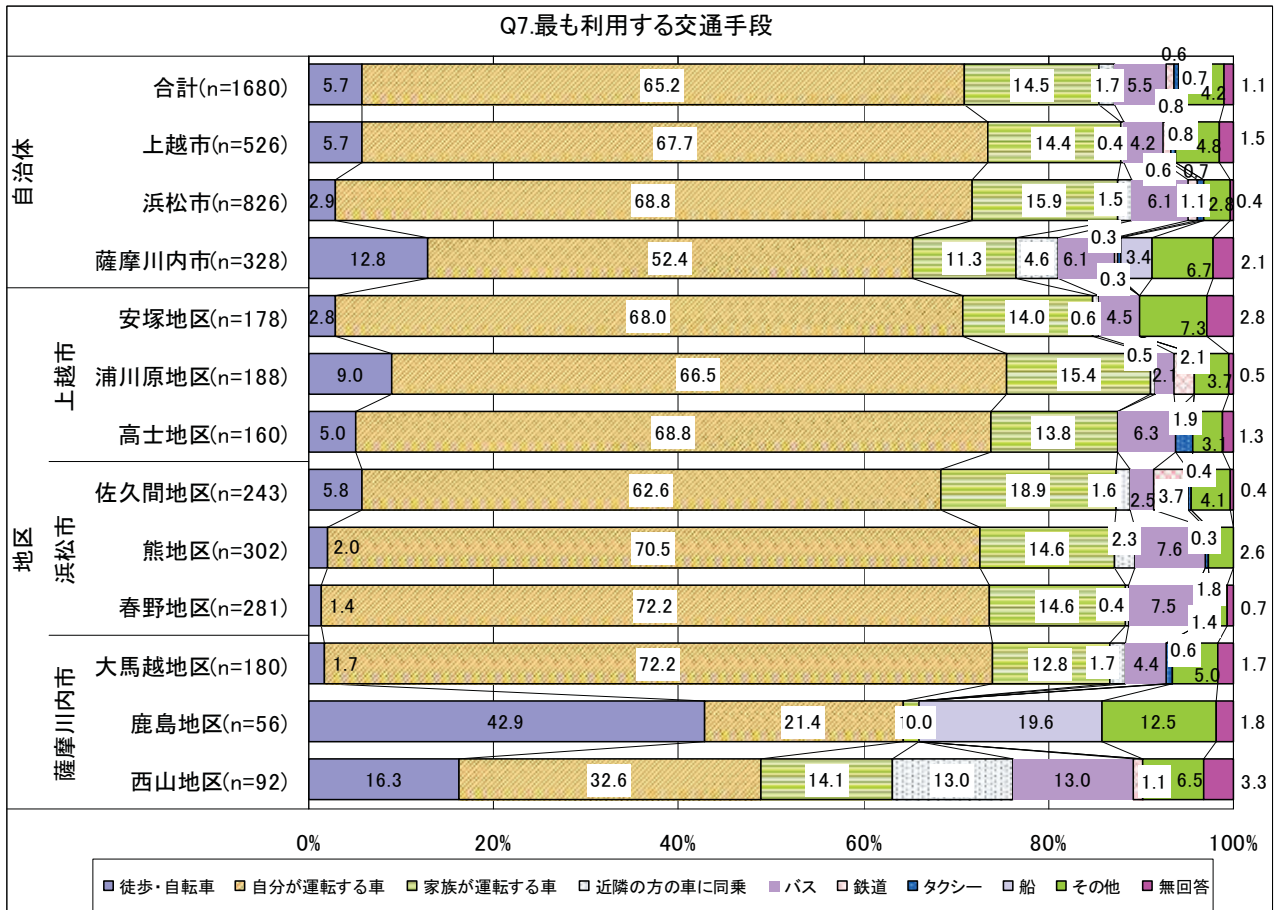


(2) 交通手段の利用状況

- 最も利用する交通手段は、自分又は家族が運転する車との回答が大半の地区で約8割を占め、薩摩川内市の島嶼部については徒歩・自転車との回答が他に比べて多くみられた。
- 最も利用する交通手段の利用頻度は、地区によって大きな差が見られ、上越市が他に比べて頻度が高く、逆に薩摩川内市西山地区では利用頻度が低かった。
- 公共交通の利便性については、バスと船についてはいずれの地区でも不便との回答が多く、鉄道については鉄道駅が近くにあるかないかで回答結果の差が顕著であった。

①最も利用する交通手段

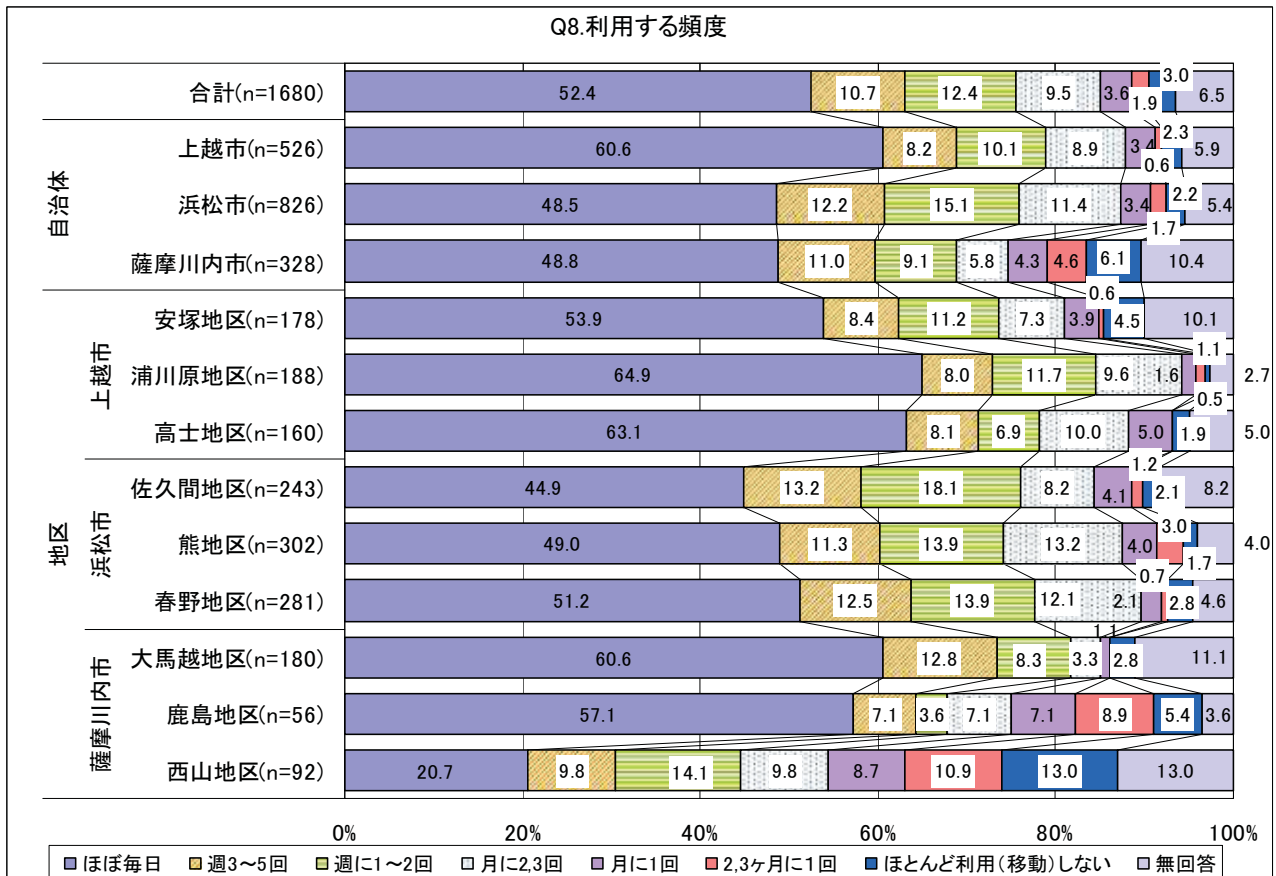
- 島嶼部にある薩摩川内市の鹿島地区、西山地区を除いた7地区で「自分が運転する車」との回答が約6~7割と大半を占め、次いで「家族が運転する車」との回答が約1~2割であった。
- 薩摩川内市鹿島地区では「徒歩・自転車」との回答が42.9%と最も多くみられた。



※「船」の選択肢は薩摩川内市の鹿島地区と西山地区のみ。

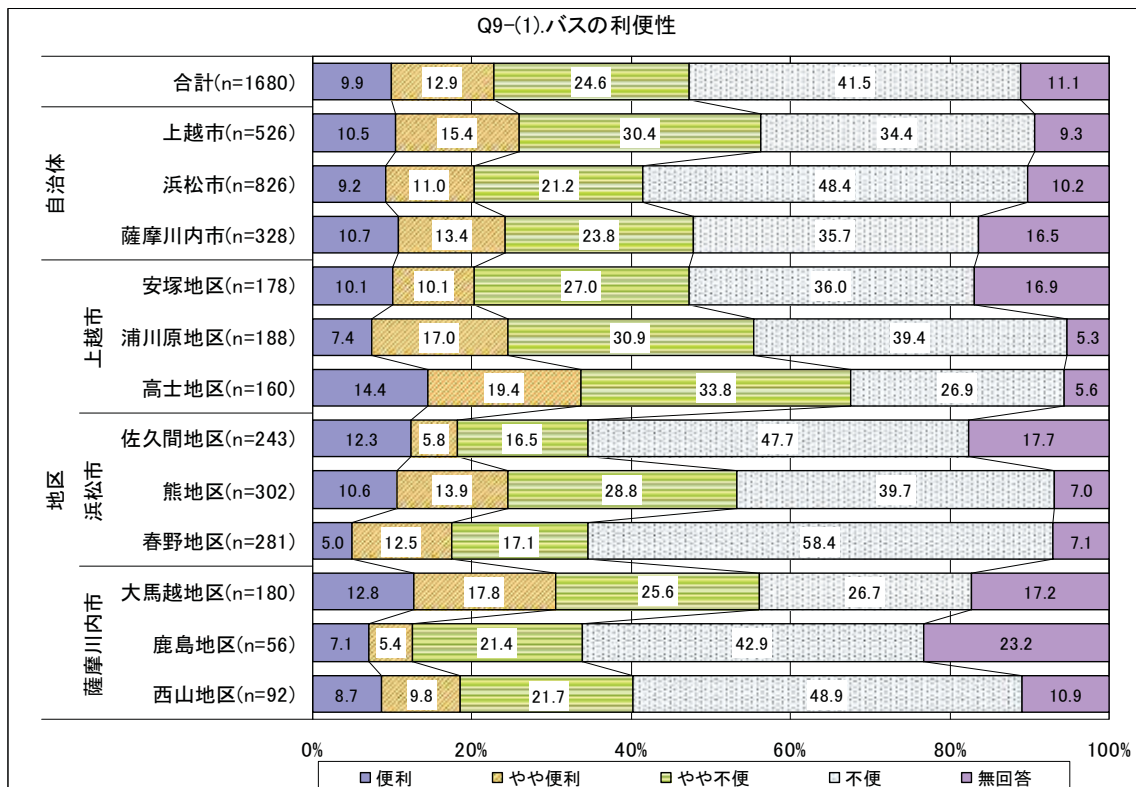
②最も利用する交通手段の利用頻度

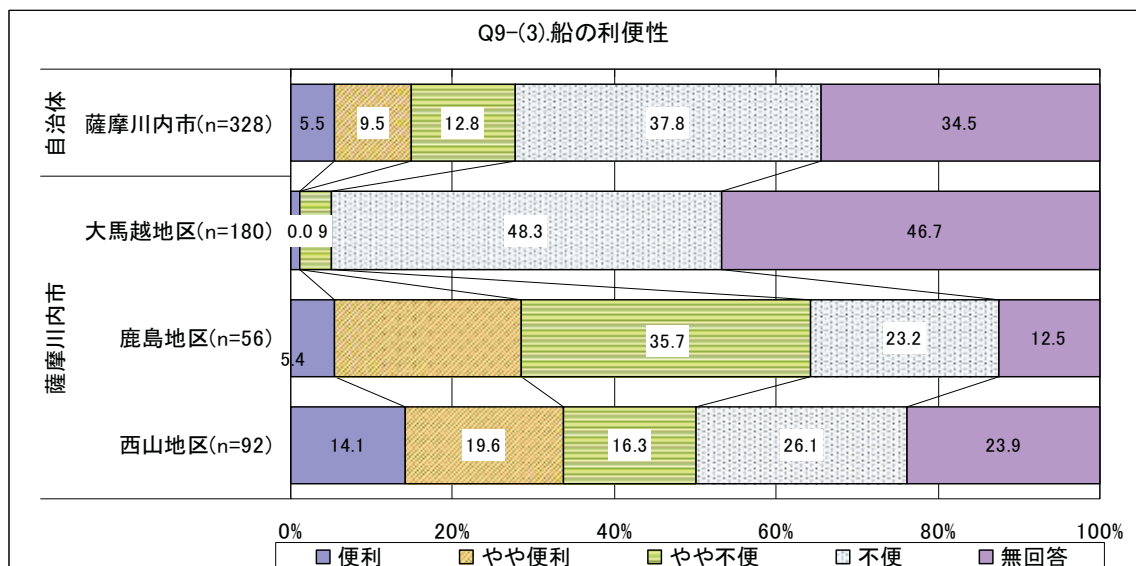
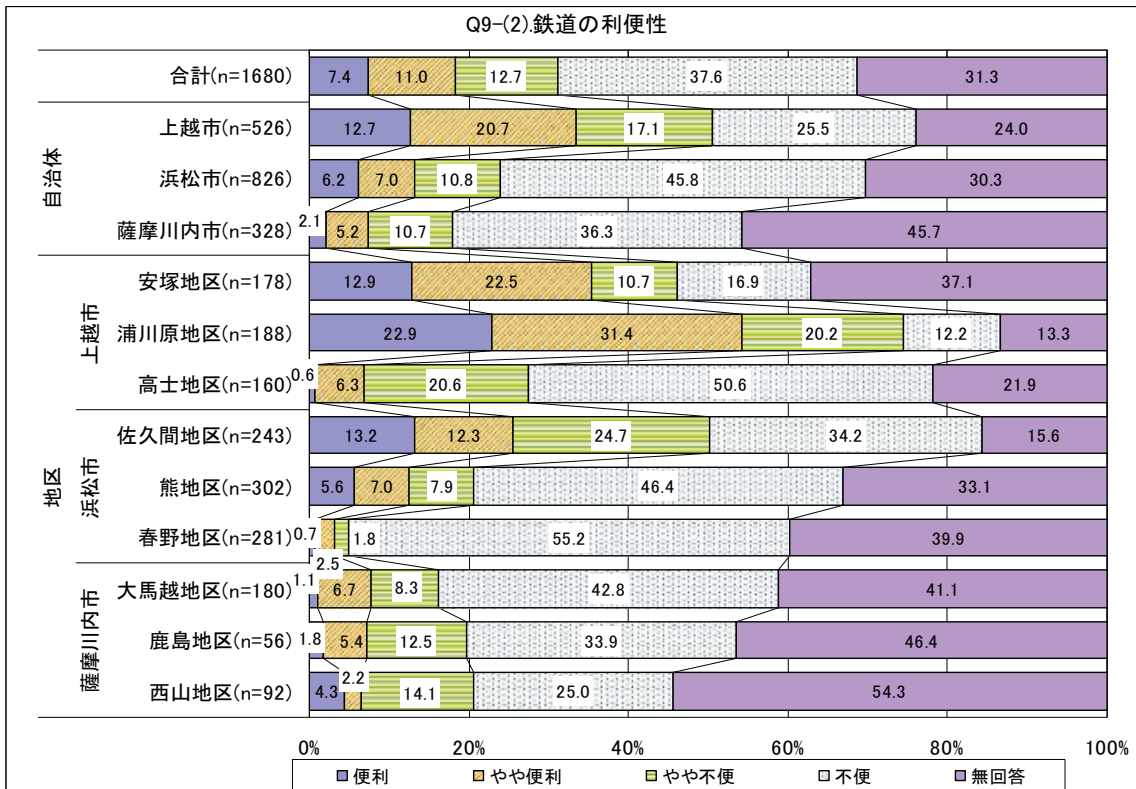
- ・ 全体としては、過半数が「ほぼ毎日」利用するとの回答であった。
- ・ 地域によってばらつきがみられ、上越市が他の2市に比べて利用頻度が高くなっており、逆に薩摩川内市西山地区では「ほぼ毎日」が20.7%と他の地区に比べて少なく、移動頻度が低いことがわかった。



③地域内の公共交通の利便性

- バスについては、全体では、「不便」あるいは「やや不便」との回答が6~7割を占めた。上越市高士地区、薩摩川内市大馬越地区で、他の地区に比べて「便利」あるいは「やや便利」との回答が3割強と若干多くみられた。
- 鉄道については、鉄道路線の有無が大きく影響するため地区によって大きな差が出ており、上越市、浜松市、薩摩川内市の順に「便利」あるいは「やや便利」との回答が多くなっている。またそもそも鉄道駅がない地区の場合は、無回答が多くみられた。上越市内では浦川原地区で「便利」あるいは「やや便利」との回答が過半数を占めたのに対し、高士地区では1割未満と少なかった。浜松市では、佐久間地区で調査地点が2集落（駅周辺、中山間地）であったために、「便利」と「不便」との回答が大きく分かれた。薩摩川内市では無回答が多く、回答があった中でも「不便」との回答が多かった。
- 船については、島嶼部の鹿島地区、西山地区でいずれも約3割が「便利」あるいは「やや便利」との回答であり、無回答を除いても、過半数に満たなかった。





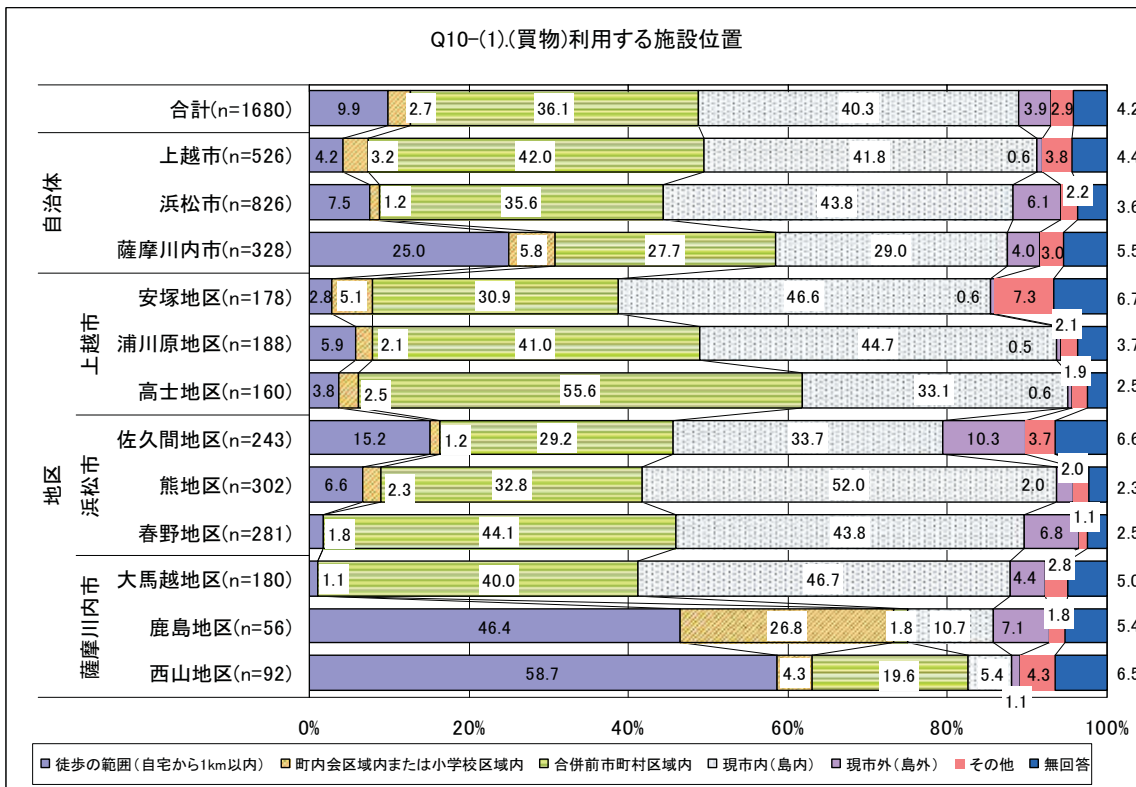
※Q3は薩摩川内市の鹿島地区と西山地区のみ。

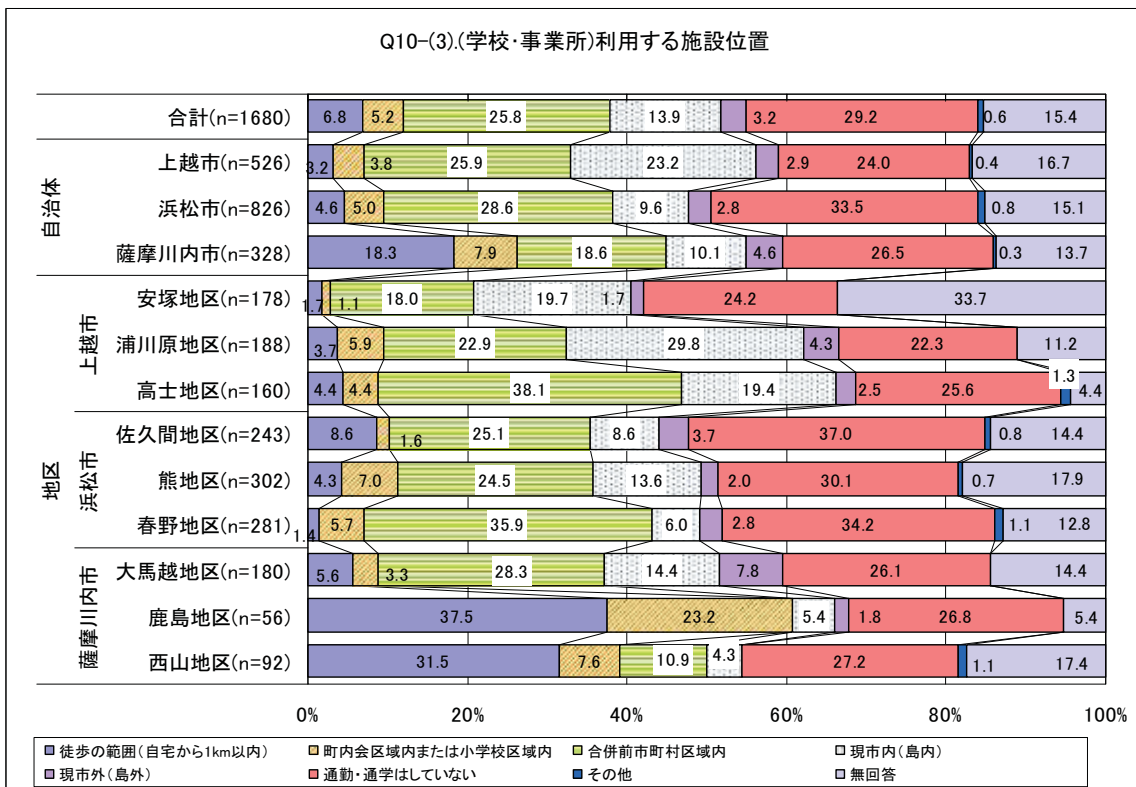
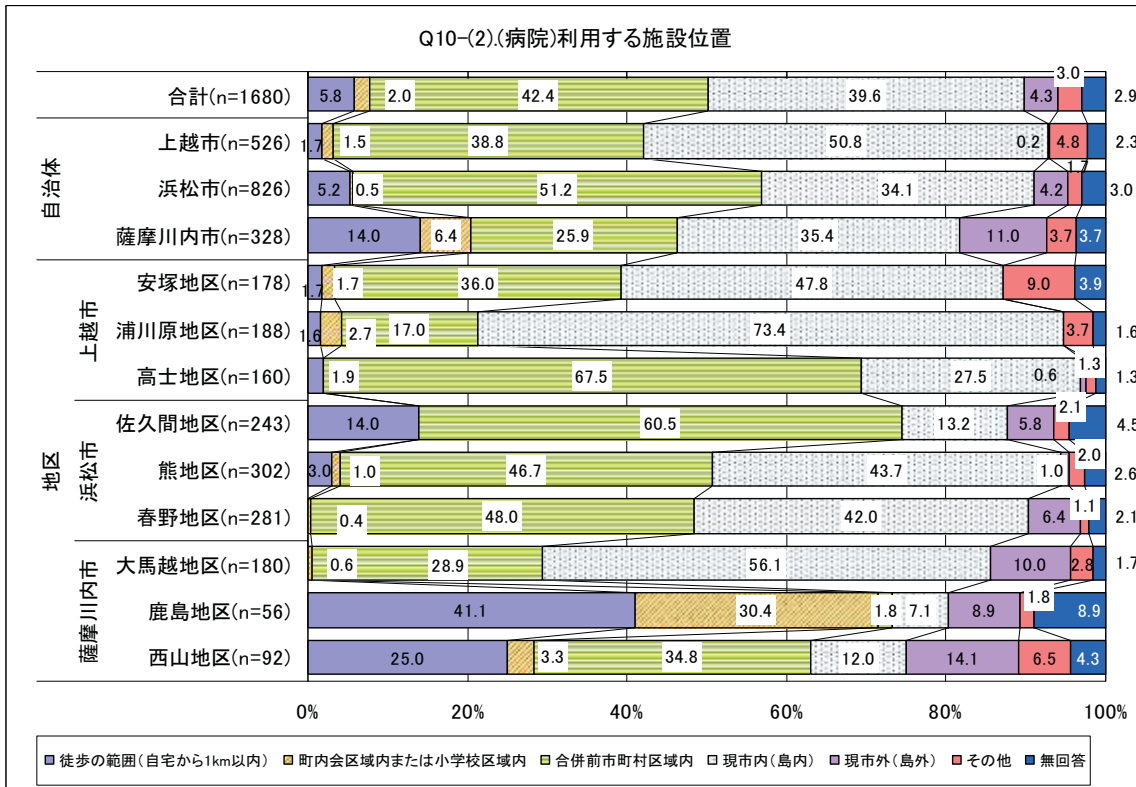
(3) 日常生活の行動範囲

- ・ 薩摩川内市の島嶼部については、(2)の交通手段の利用状況からもわかるように、日常生活において徒歩の範囲内で生活している状況がわかった。
- ・ 他の地区については、買物については、合併前の市町村内との回答と、合併後の市内との回答に2分された。病院と学校・事業所については上越市安塚地区、浦川原地区では合併後の上越市内、上越市高士地区、浜松市佐久間地区では合併前の旧市内を行動範囲とする傾向であった。

①日常生活でよく利用する施設の位置

- ・ 薩摩川内市の島嶼部では「徒歩の範囲」との回答が、買物、病院、学校・事業所の全てで多くみられた。
- ・ 上記2地区以外の地区については、買物については、「合併前市町村区域内」、「現(合併後)市内」との回答が概ね1対1の割合であった。また、「市外」との回答は、上越市ではほとんどなかったが、浜松市佐久間地区、春野地区、薩摩川内市鹿島地区ではみられた。
- ・ 病院については、上越市安塚区、浦川原地区、薩摩川内市大馬越地区で「市内」との回答が多く、上越市高士地区、浜松市佐久間地区では「合併前市町村区域内」との回答が多くみられた。また、浜松市、薩摩川内市で「市外」との回答が1割前後見られた。
- ・ 学校・事業所については、「通勤・通学はしていない」との回答が多くあった。通勤・通学者の中では上越市安塚地区、浦川原地区では「現(合併後)市内」との回答が多く、上越市高士地区、浜松市の3地区、薩摩川内市大馬越地区では「合併前市町村区域内」との回答が多くみられた。





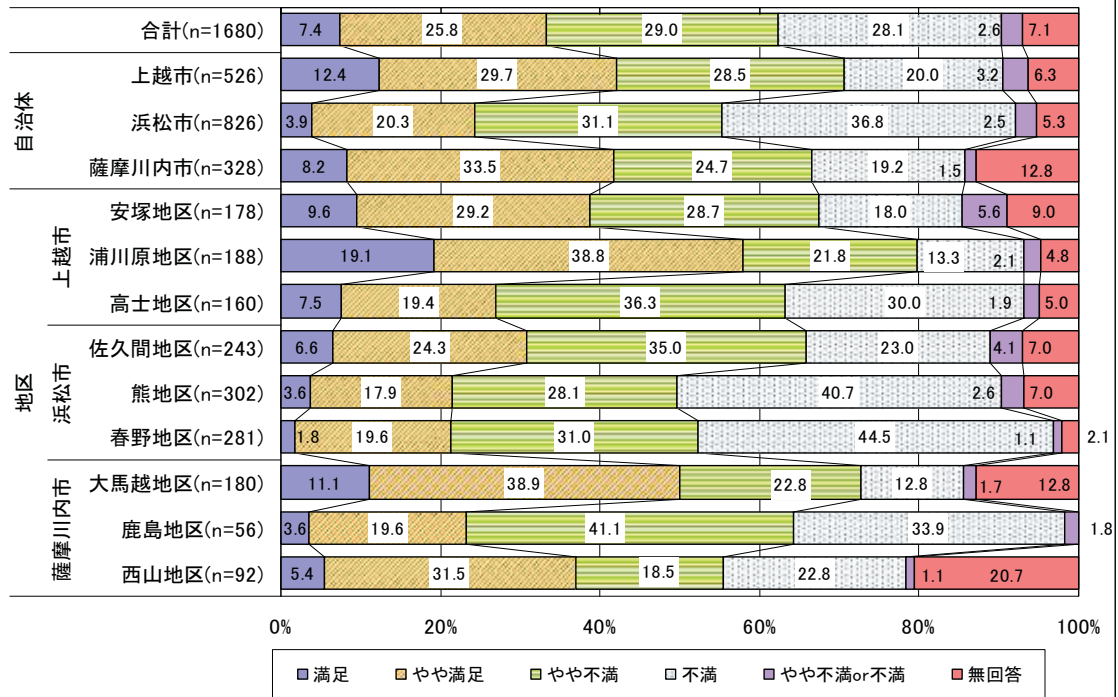
(4) 日常生活する生活機能・サービスについて

- ・ 除雪を除いてはいずれも不満との回答が満足を上回っており、特に買物と公共交通について満足している人の割合が少なかった。
- ・ 不満の理由については、施設の数についての回答が特に多くみられた。病院については単に施設の数だけではなく総合病院や診療科目などの内容について挙げる回答が多く、公共交通については、運行本数を挙げる回答が多かった。
- ・ 充実が必要なサービスについては、交通・移動サービス、独居高齢者の見守りサービス、介護サービスとの回答が全体的に多かったが、地区によって差が見られた。
- ・ 集落での共同作業については、伝統行事・祭りやイベントが多く、地区によっては、冠婚葬祭、道路などの維持管理、集会所の管理との回答も多くみられた。

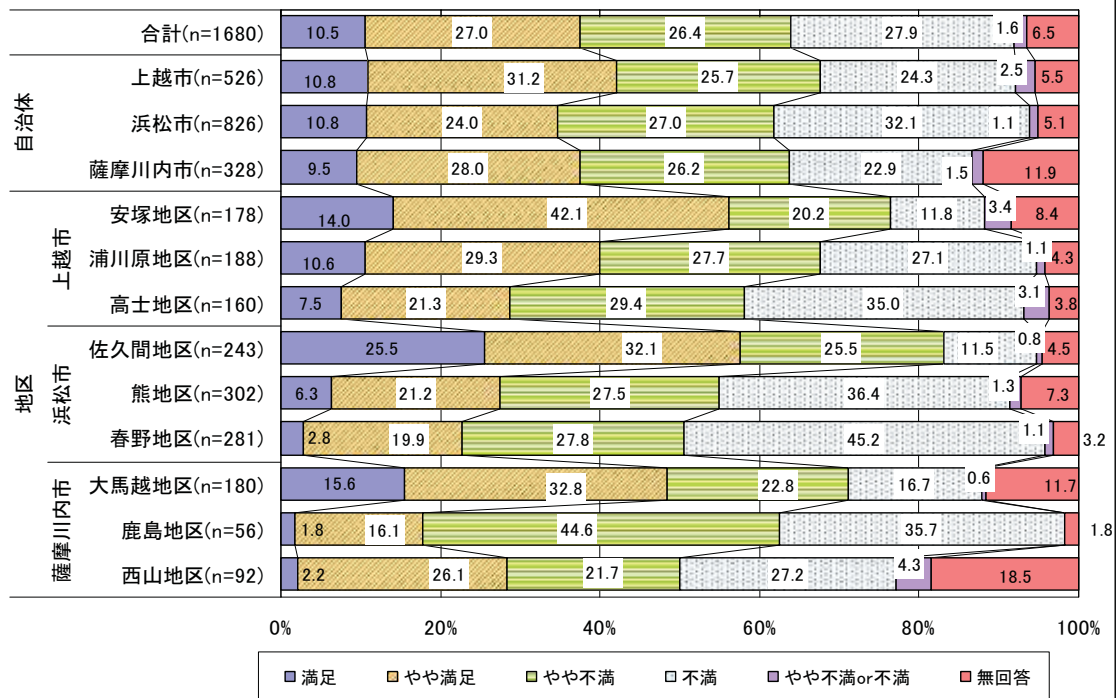
①生活機能・サービスの満足度

- ・ 買物については、「満足」あるいは「やや満足」が約3割、「不満」あるいは「やや不満」が約6割であった。上越市高士地区、薩摩川内市大馬越地区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 医療（病院）については、「満足」あるいは「やや満足」が約4割、「不満」あるいは「やや不満」が約5割であった。上越市安塚地区、浜松市佐久間地区、薩摩川内市大馬越地区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 福祉・介護については、「満足」あるいは「やや満足」が約4割、「不満」あるいは「やや不満」が約4割であり、福祉・介護サービスを利用していない若年層も含まれることから、無回答の割合が多かった。上越市、浜松市佐久間地区、薩摩川内市大馬越地区、鹿島地区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 公共交通については、「満足」あるいは「やや満足」が約2.5割、「不満」あるいは「やや不満」が約6割であり、公共交通の利便性で不便との回答が多かったことからわかるように不満との回答が多かった。鉄道の利便性が他の地区に比べて良いとの結果であった上越市浦川原地区で満足との回答が他の地区に比べて多くみられた。
- ・ 文化・教育については、「満足」あるいは「やや満足」が約3割、「不満」あるいは「やや不満」が約5割であった。上越市浦川原区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 除雪については、「満足」あるいは「やや満足」が過半数を占めた。

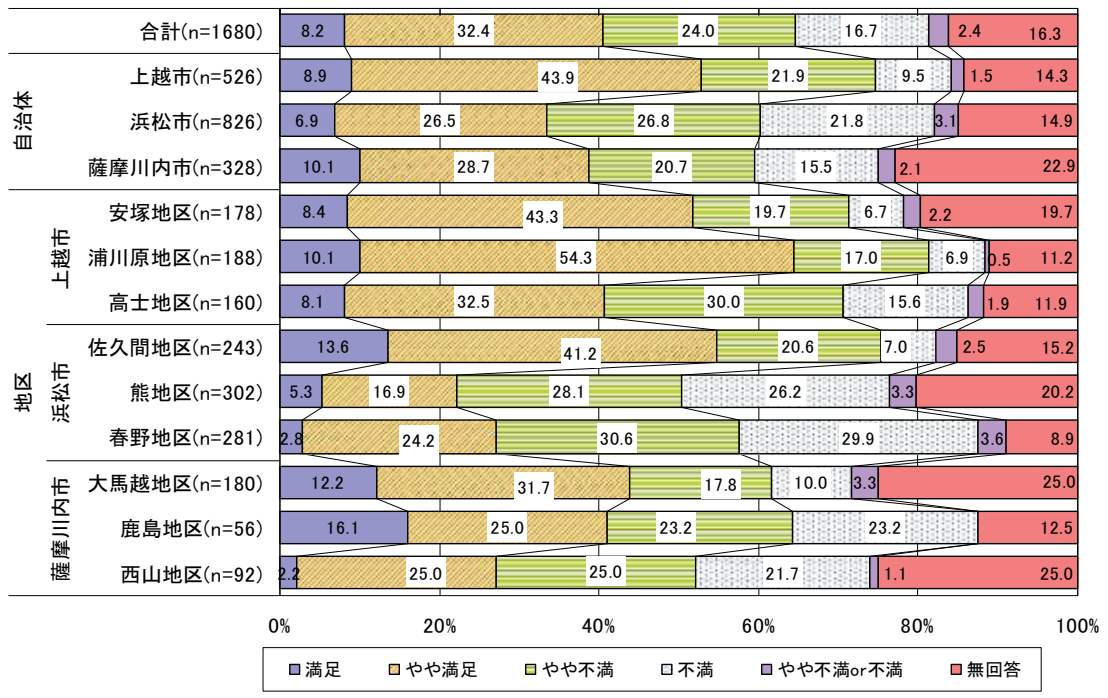
Q11-(1).(買物)生活機能・サービス満足度



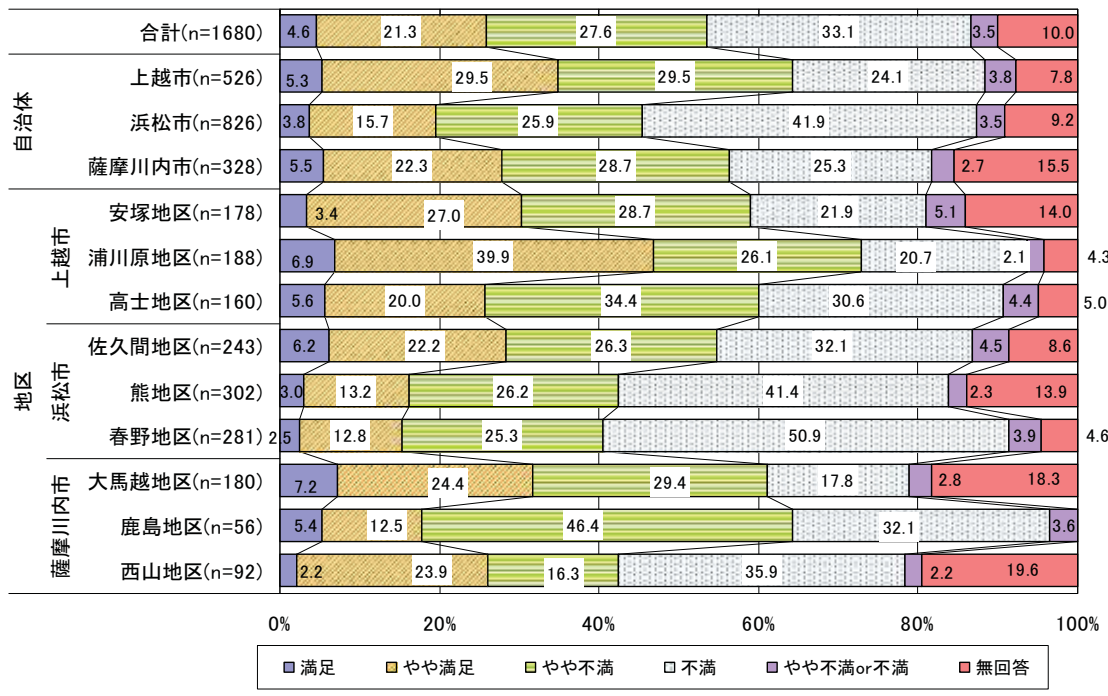
Q11-(2).(医療)生活機能・サービス満足度



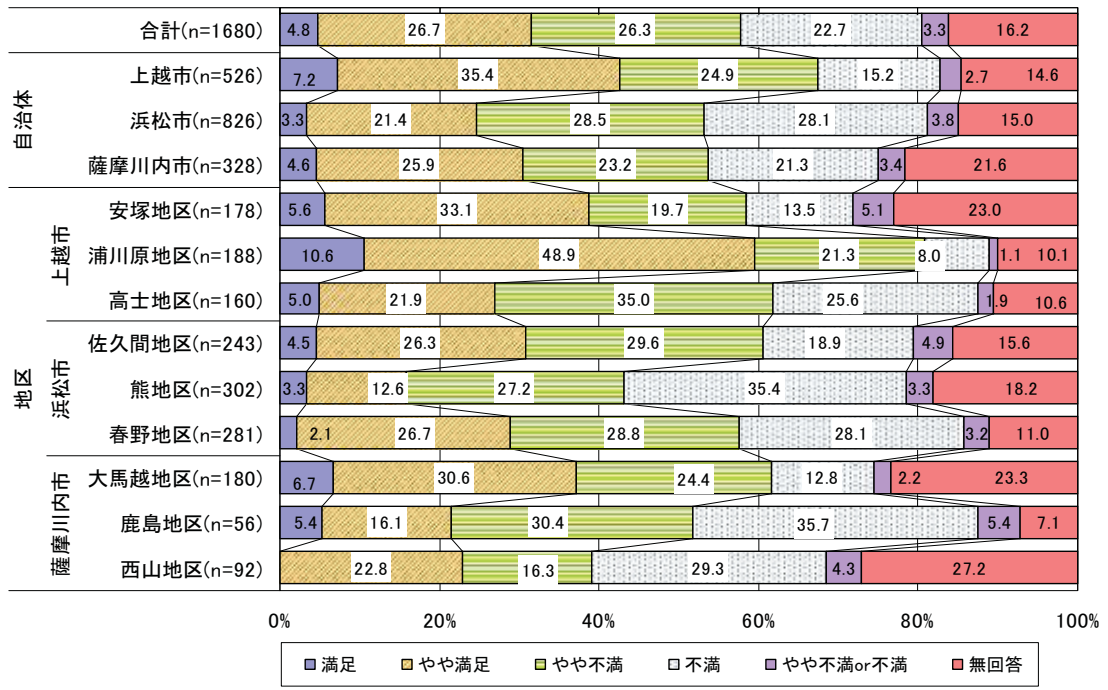
Q11-(3).(福祉・介護)生活機能・サービス満足度



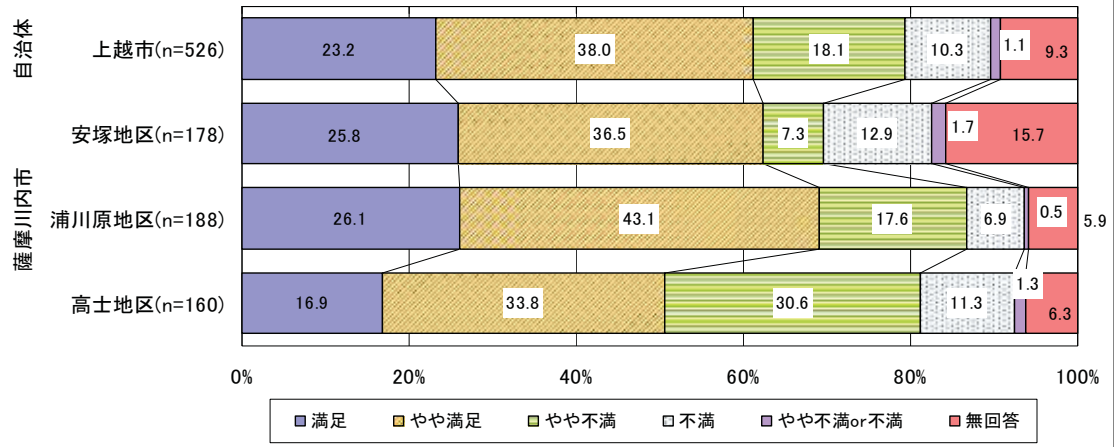
Q11-(4).(公共交通)生活機能・サービス満足度



Q11-(5).(文化・教育)生活機能・サービス満足度

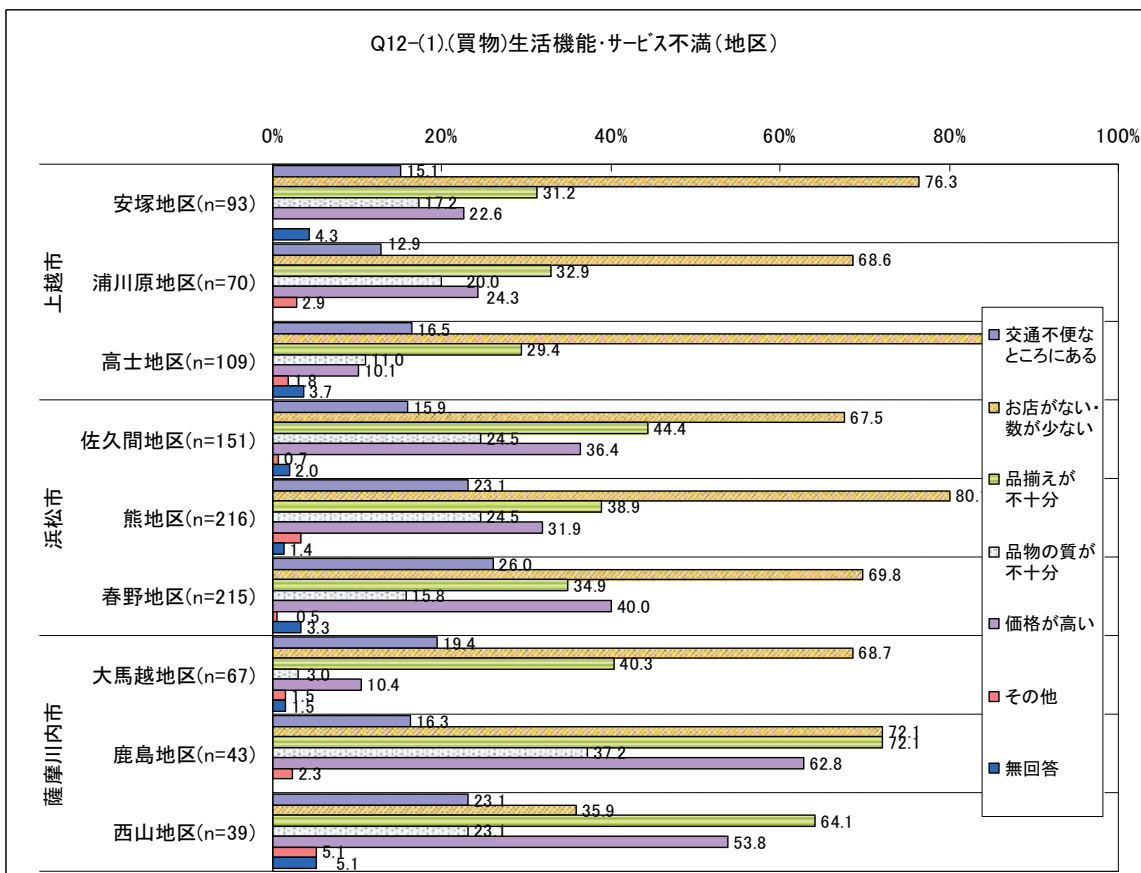


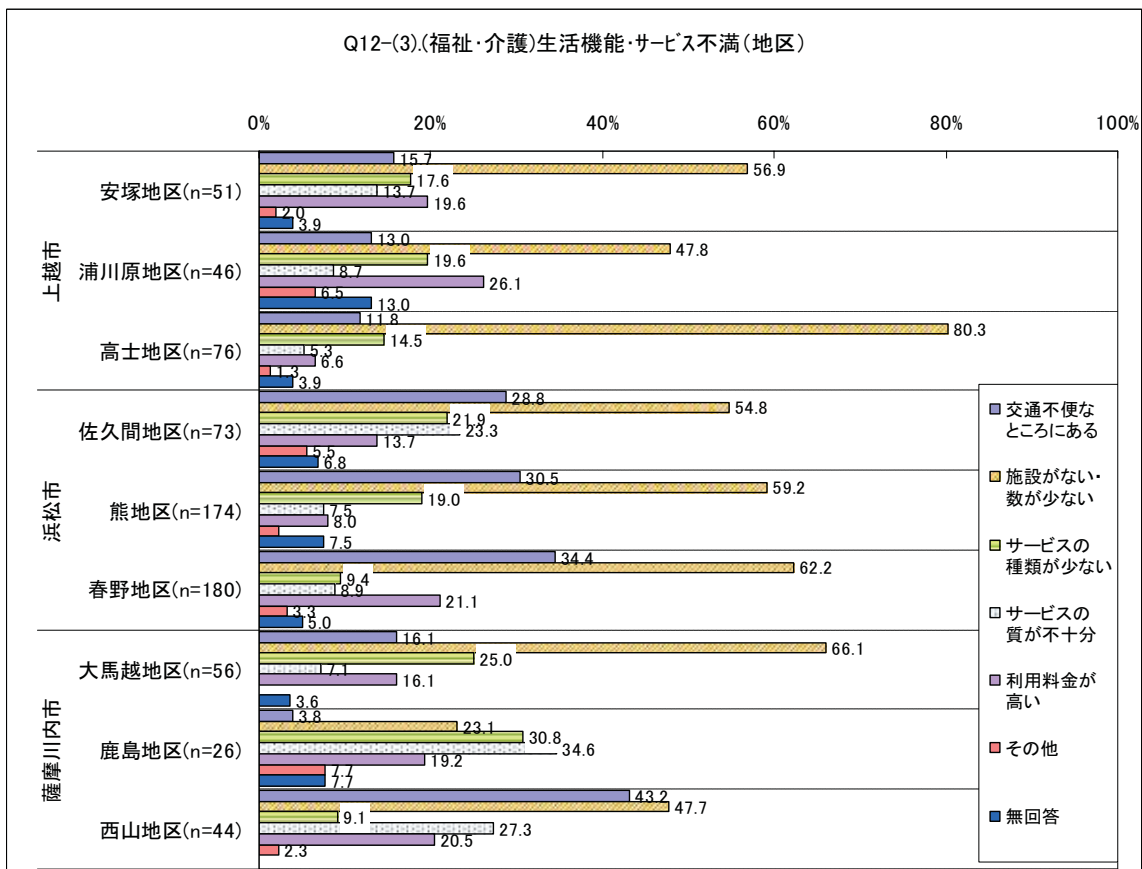
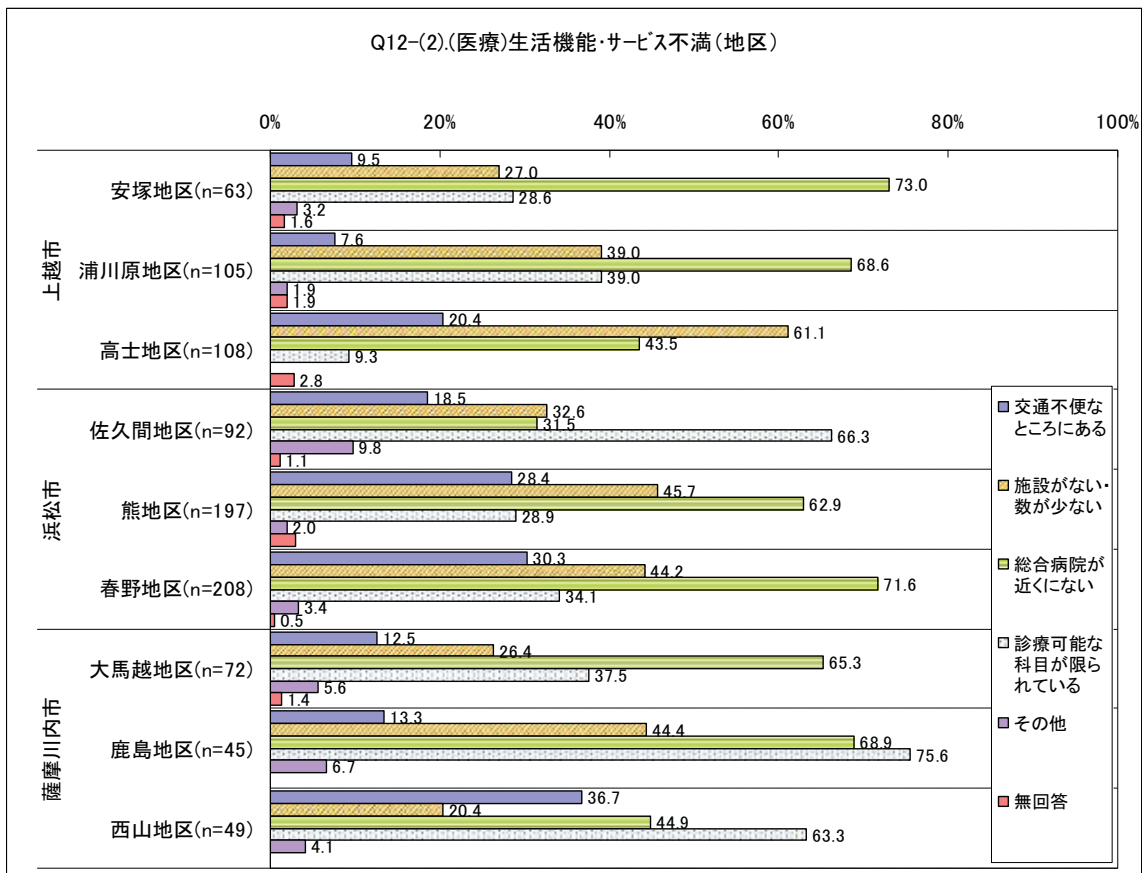
Q11-(6).(除雪)生活機能・サービス満足度

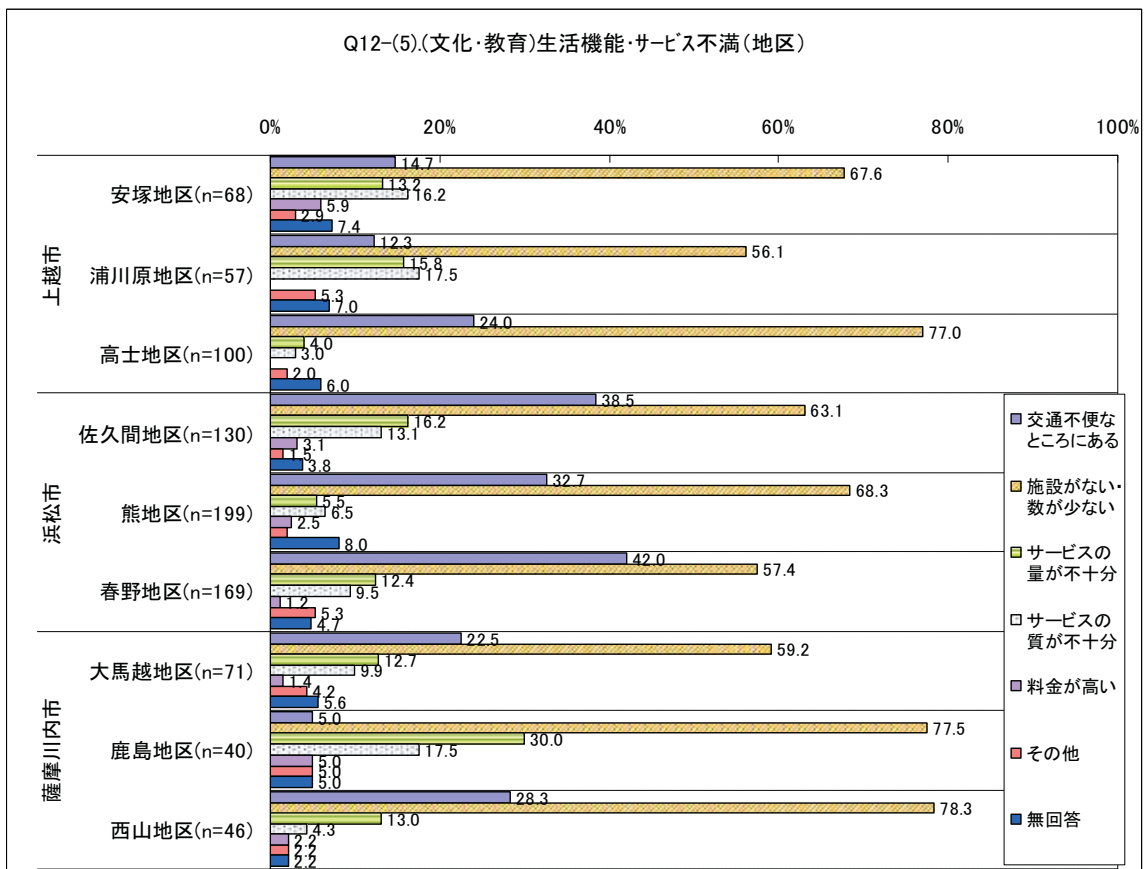
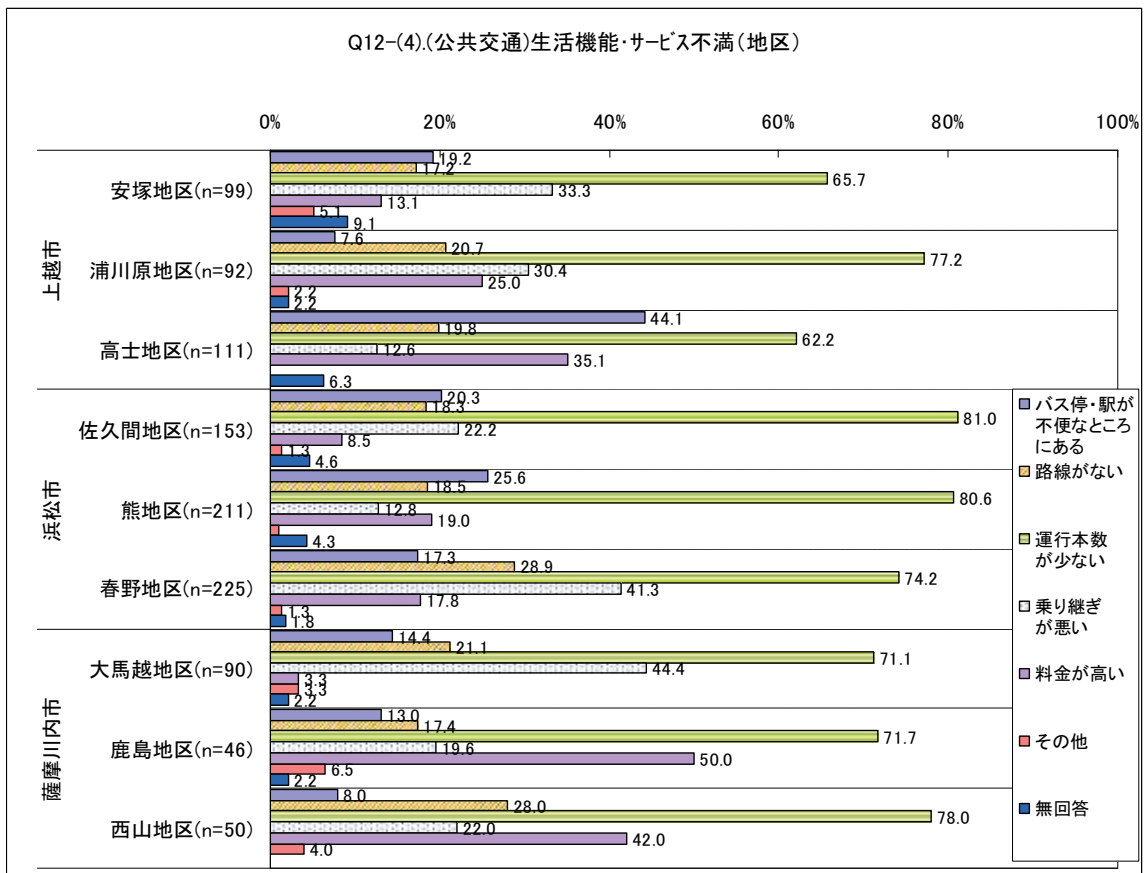


②生活機能・サービスが不満な理由

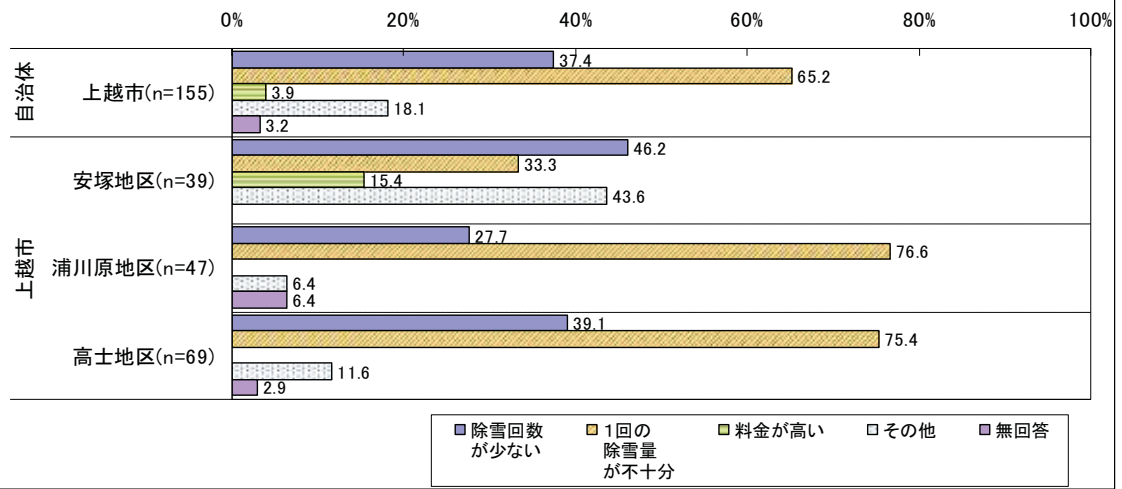
- ・ 買物については、「お店が少ない・数が少ない」との回答が大半の地区で約 7 割と最も多かった。次いで、「品揃えが不十分」との回答が多かった。薩摩川内市の島嶼部では「品揃えが不十分」「価格が高い」との回答が他地区に比べて多くみられた。
- ・ 医療については、「総合病院が近くにない」との回答が 6 割を超える地区が多かった。地区によって差が見られ、浜松市佐久間地区では、総合病院の近さを理由に挙げる人は 3 割にとどまったものの、逆に「診療可能な科目が限られている」との回答が 7 割弱と多くみられた。また薩摩川内市鹿島地区、西山地区においても「診療可能な科目が限られている」との回答が多くみられた。
- ・ 福祉・介護については、「施設がない・数が少ない」との回答が薩摩川内市鹿島地区以外の全ての地区で最も多かった。浜松市の 3 地区、薩摩川内市西山地区で「交通不便なところにある」との回答が多くみられた。
- ・ 公共交通については、「運行本数が少ない」との回答が全ての地区で 6~8 割と最も多かった。上越市、浜松市では「乗り継ぎが悪い」との回答も多くみられた。薩摩川内市の島嶼部では「料金が高い」との回答も多くみられた。
- ・ 文化・教育については、「施設が少ない・数が少ない」との回答が全ての地区で 5~7 割と最も多かった。次いで、「交通不便なところにある」との回答が多かった。
- ・ 除雪については、浦川原地区、高士地区では「1 回の除雪量が不十分」との回答が約 7 割と多く安塚地区では「除雪回数が少ない」との回答のほうが多かった。





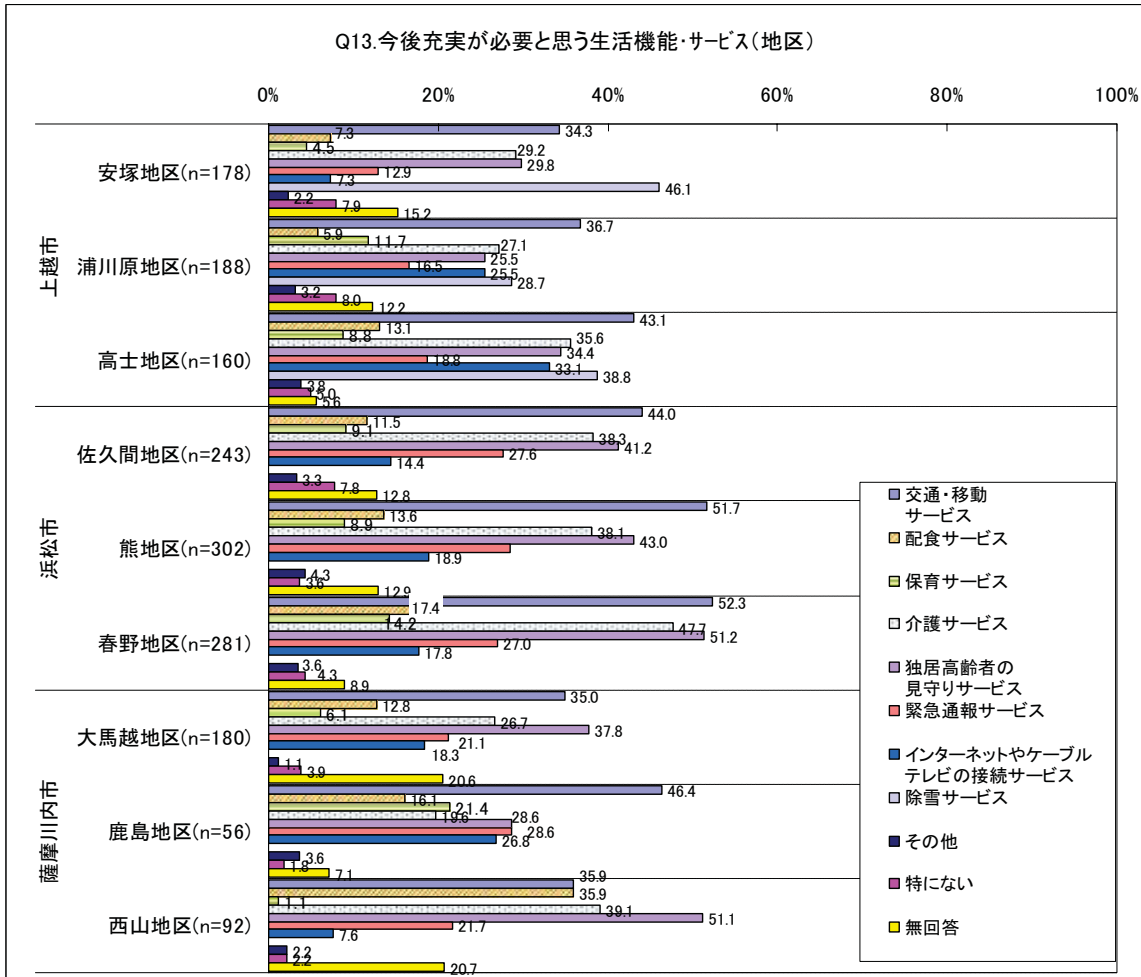


Q12-(6).(除雪)生活機能・サービス不満



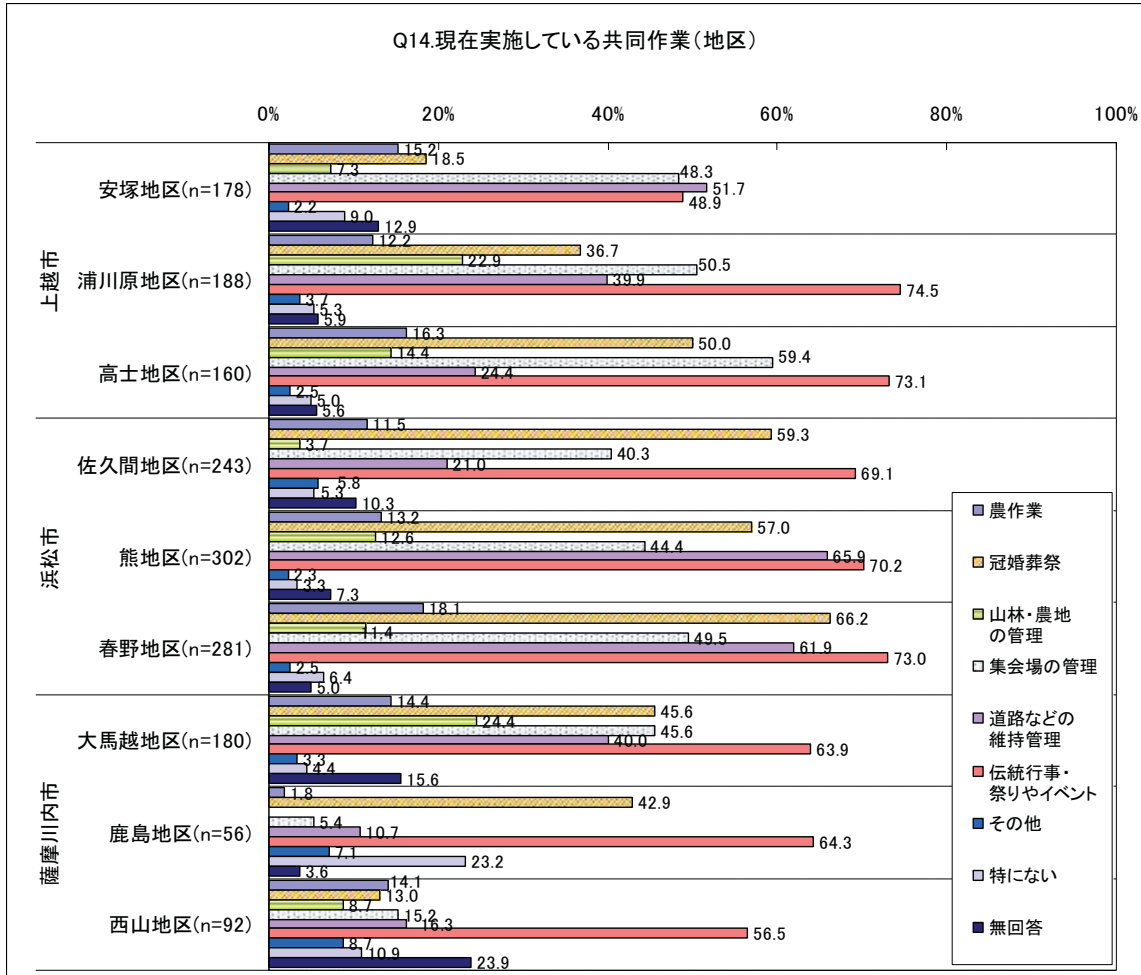
③今後充実が必要だと思う生活機能・サービス

- 「交通・移動サービス」、「独居高齢者の見守りサービス」、「介護サービス」がいずれの地区でも上位に挙がった。上越市では「除雪サービス」が、浜松市では「緊急通報サービス」が、薩摩川内市では「配食サービス」も回答が多くみられた。



④現在実施している共同作業

- 上越市安塚地区以外では、「伝統行事・祭りやイベント」が最も多くみられた。「冠婚葬祭」「道路などの維持管理」との回答が浜松市で多く、「集会所の管理」との回答が上越市で多くみられた。

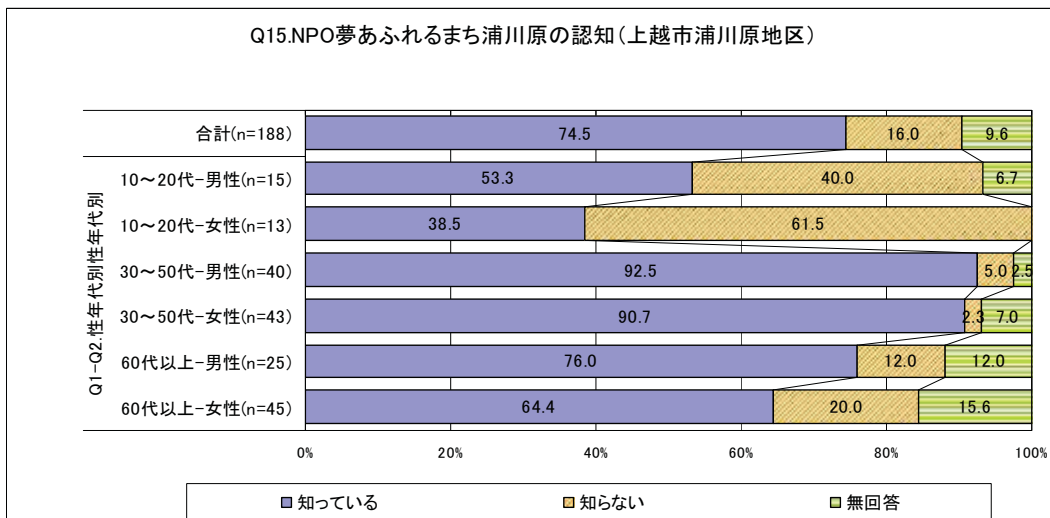
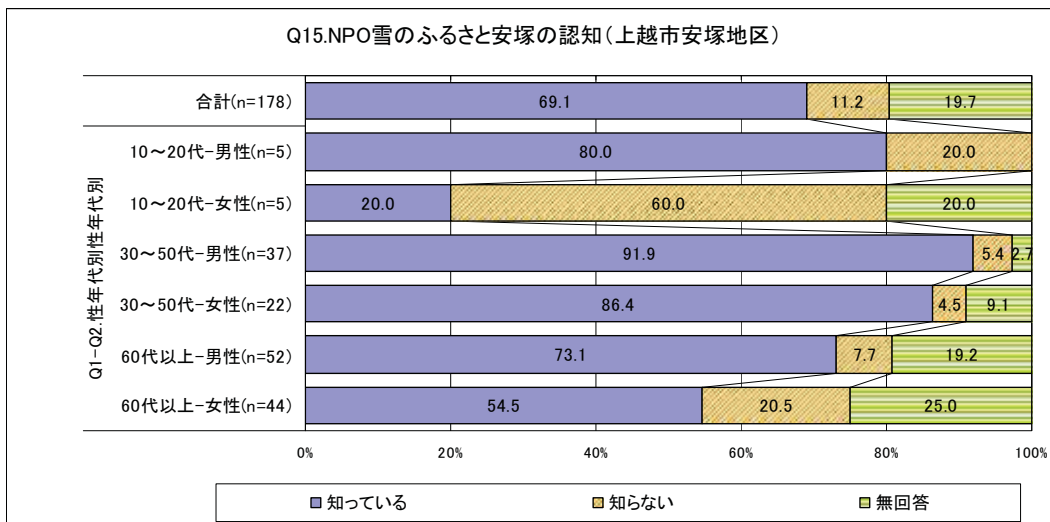


(5) 地域づくり活動について

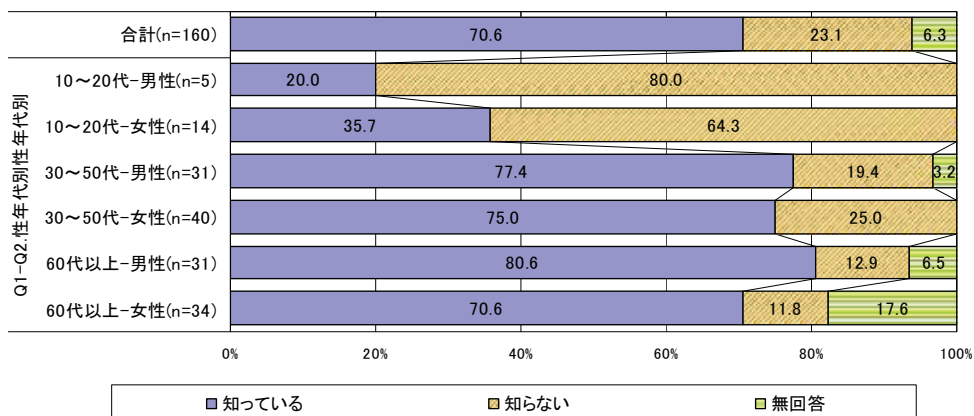
- ・ 地域づくり活動を行う組織については、上越市では若い世代での認知状況が低かった。
- ・ 地域づくり活動への参加状況は地域によって差が見られたものの過半数は参加したことがあるとの回答であった。参加した内容としては、イベント・行事・文化活動や環境・美化活動であり、日常的に行われる活動よりも1年に数回、イベント的に行われる活動への参加が多かった。
- ・ 活動内容にかかわらず、人や地域や郷土のために貢献することができたことを参加してよかったと挙げる人が多く、また活動のやりがいがあるとの回答も活動内容にかかわらずあった。
- ・ 活動度合いが多いほど負担を感じる傾向にあったが、一方で毎日参加している人で強く負担を感じている人は少なく、逆に数年に1回程度しか参加していない人は負担を感じる人が多くみられた。
- ・ 地域で住民の組織が中心となって取り組むべき活動としては、イベント・行事・文化活動、防災・防犯・交通安全活動、健康・福祉活動等が多く、これまで参加した活動と同じものが多かった。

①組織の認知状況

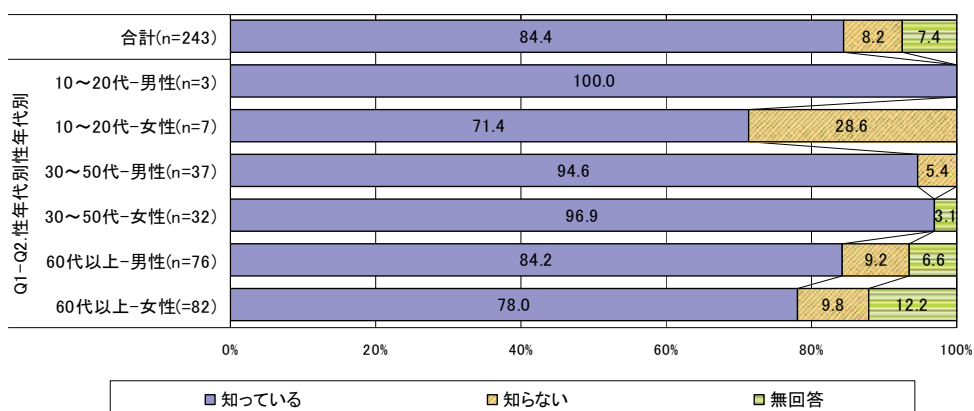
- ・ 浜松市の2つのNPOについて「知っている」との回答が8割強と多くみられた。
- ・ 大半の地区で、10~20代が「知っている」との回答が他の年代に比べて少なかった。



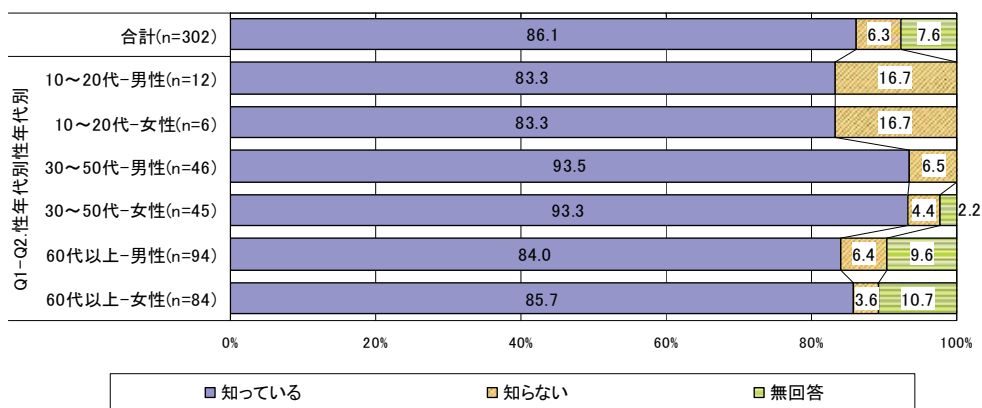
Q15.高士地区振興協議会の認知(上越市高士地区)



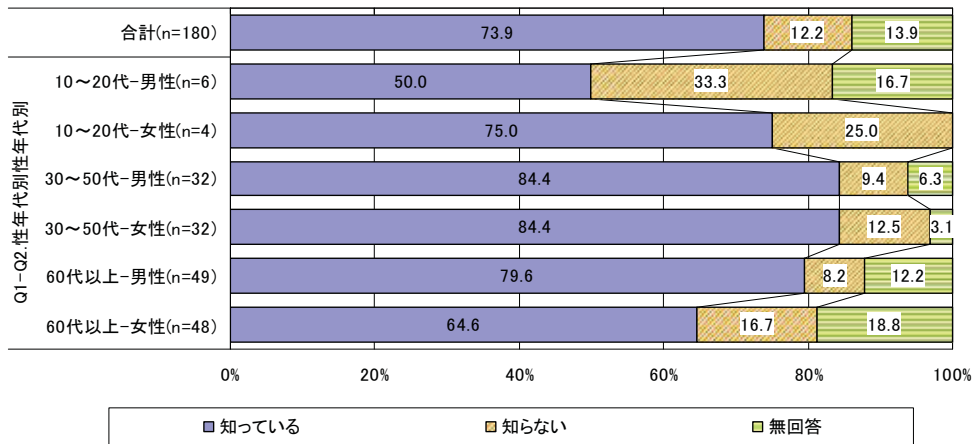
Q15.NPOがんばらまいか佐久間の認知(浜松市佐久間地区)



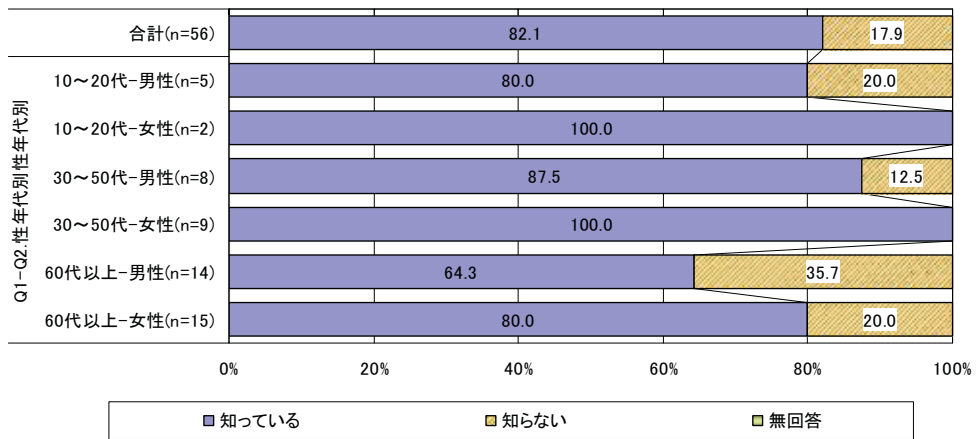
Q15.NPO夢未来くんまの認知(浜松市熊地区)



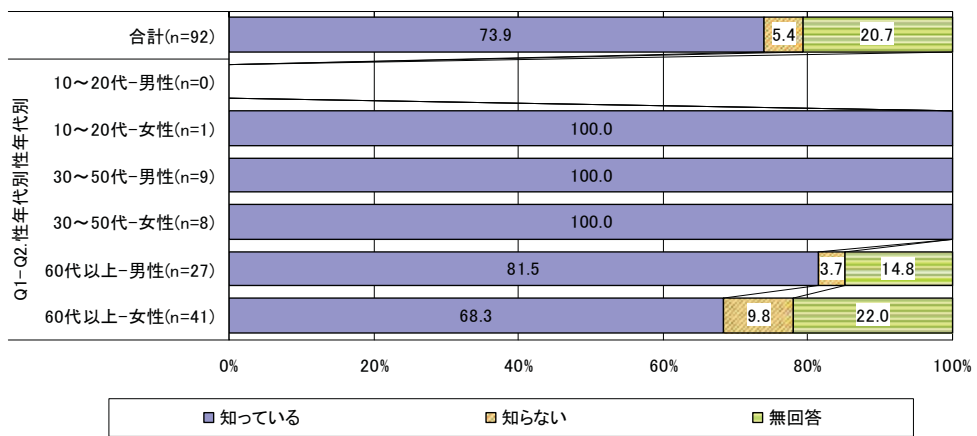
Q15.大馬越地区コミュニティ協議会の認知(薩摩川内市大馬越地区)



Q15.鹿島地区コミュニティ協議会の認知(薩摩川内市鹿島地区)

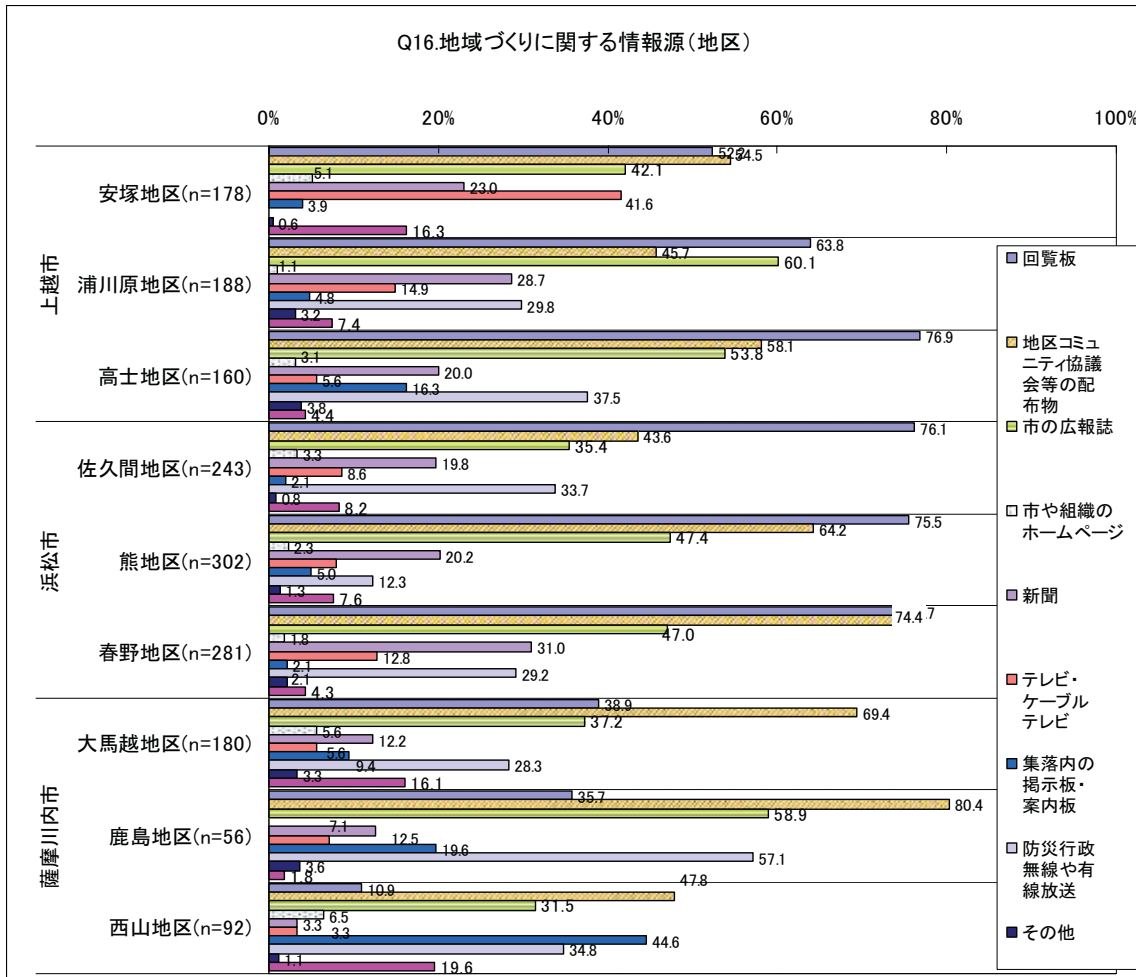


Q15.西山地区コミュニティ協議会の認知(薩摩川内市西山地区)



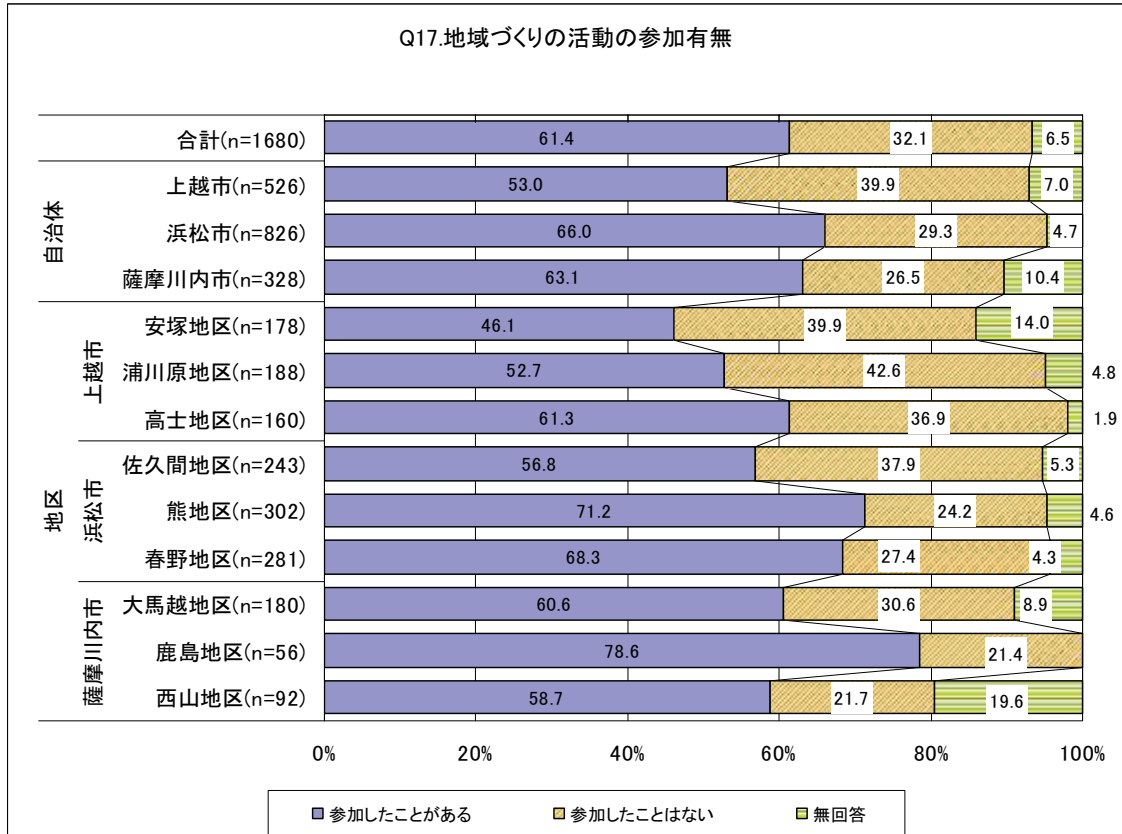
②地域に関する情報の情報源

- ・ 上越市、浜松市では「回覧板」との回答がいずれの地区でも多く、薩摩川内市では「地区コミュニティ協議会の配布物」との回答が多くみられた。
- ・ 上越市安塚区で「テレビ・ケーブルテレビ」との回答が多く、薩摩川内市鹿島地区で「防災行政無線や有線放送」との回答が多くみられた。



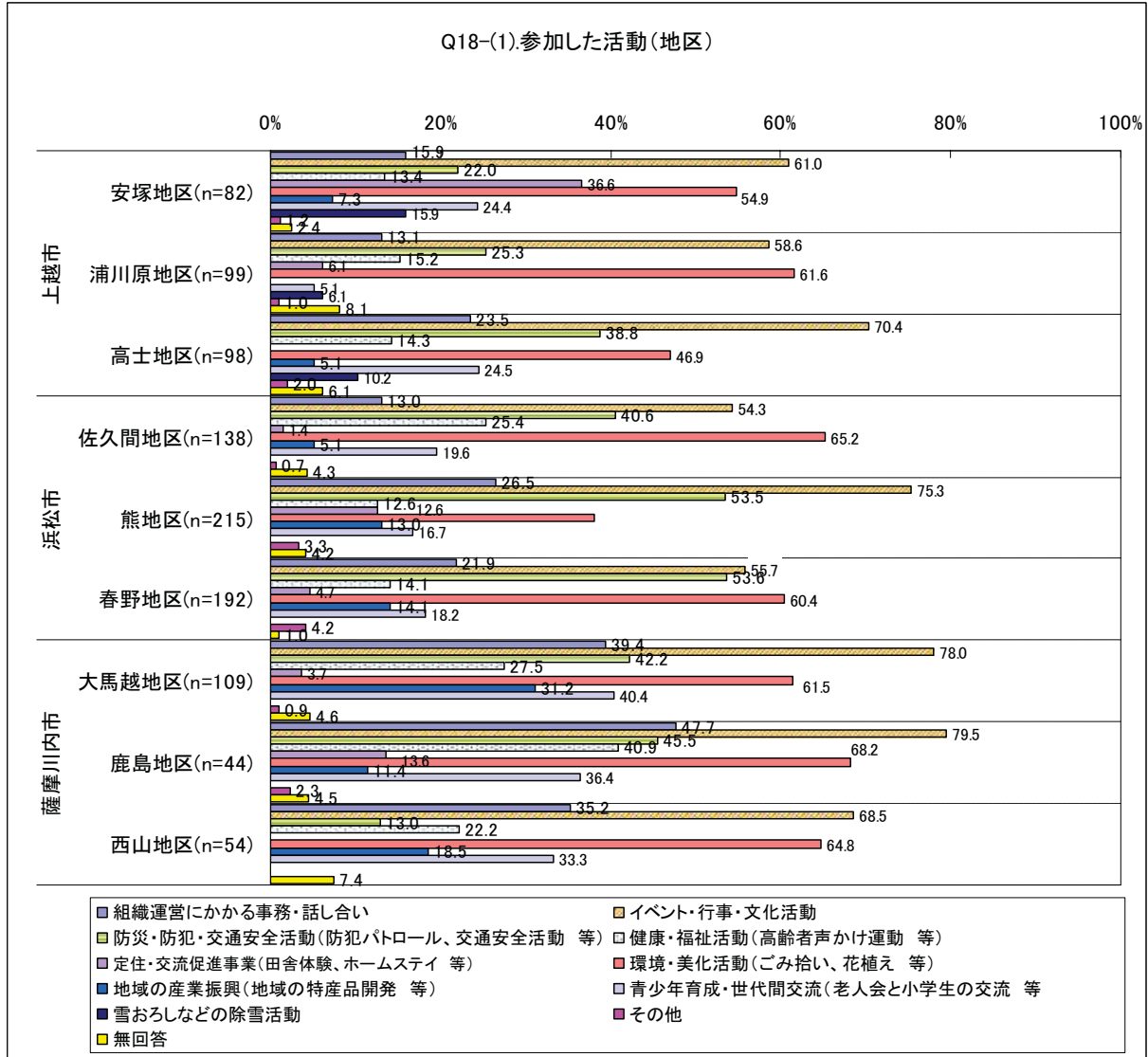
③地域づくり活動への参加状況

- 全体としては過半数が「参加したことがある」との回答であり、上越市安塚地区で他に比べて少なく、薩摩川内市鹿島地区で他に比べて多くみられた。



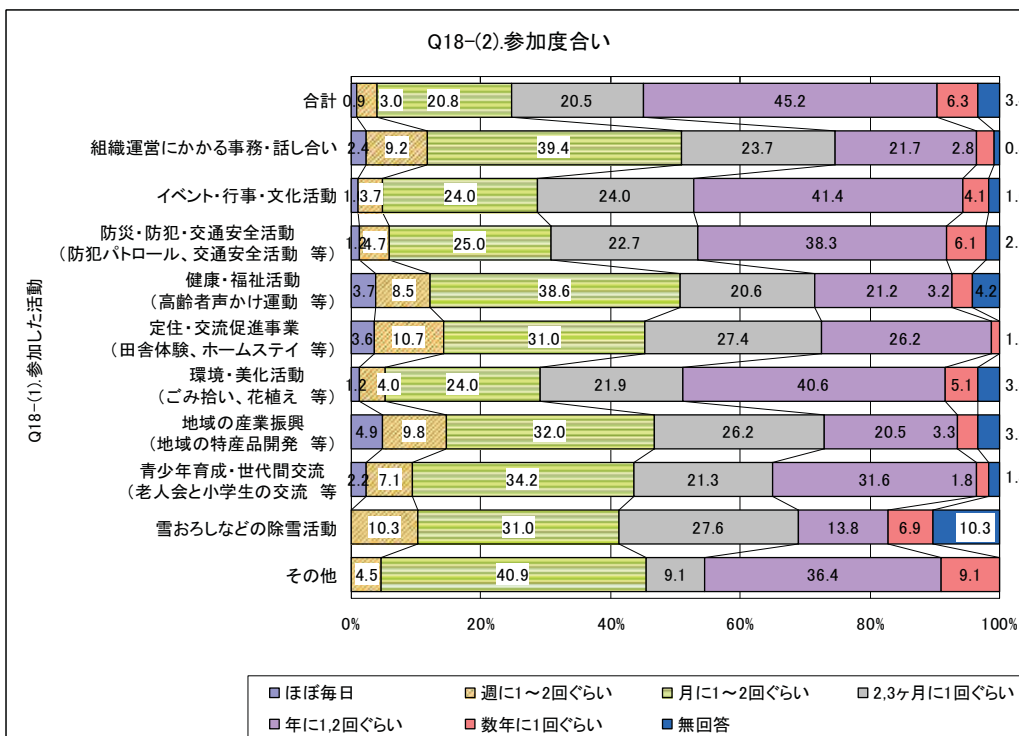
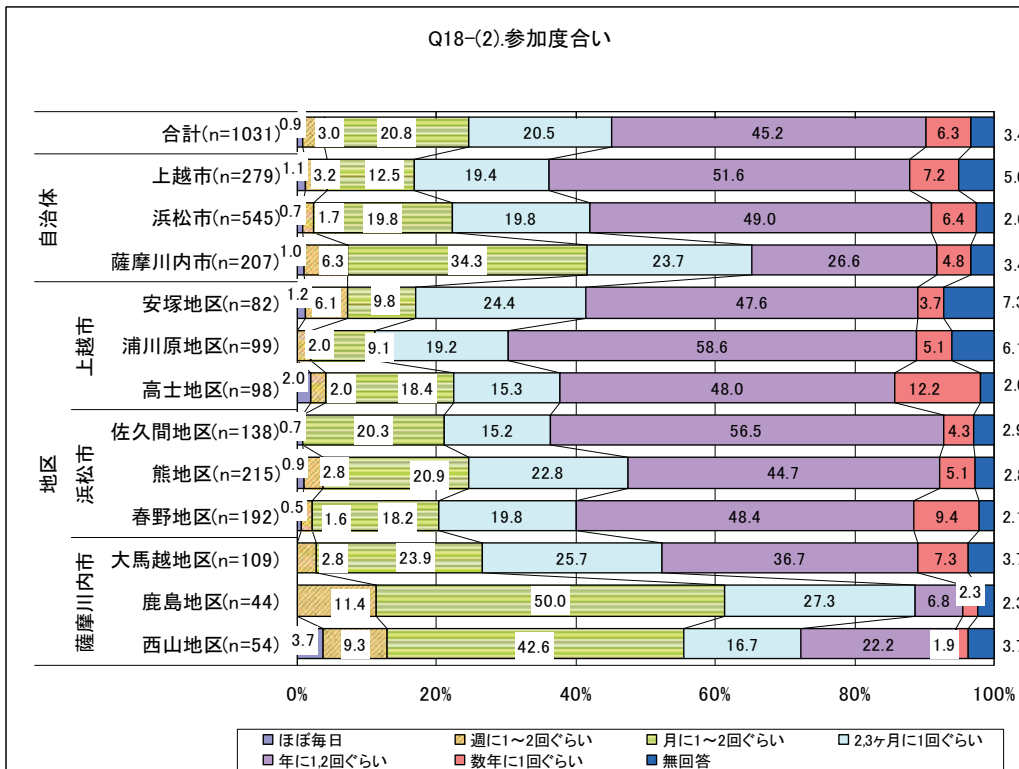
③-1-1 参加した活動

- ・ 「イベント・行事・文化活動」、「環境・美化活動」との回答がいずれの地区でも多くみられた。「防災・防犯・交通安全活動」は浜松市で多くなっており、「青少年育成・世代間交流」は薩摩川内市で多くみられた。



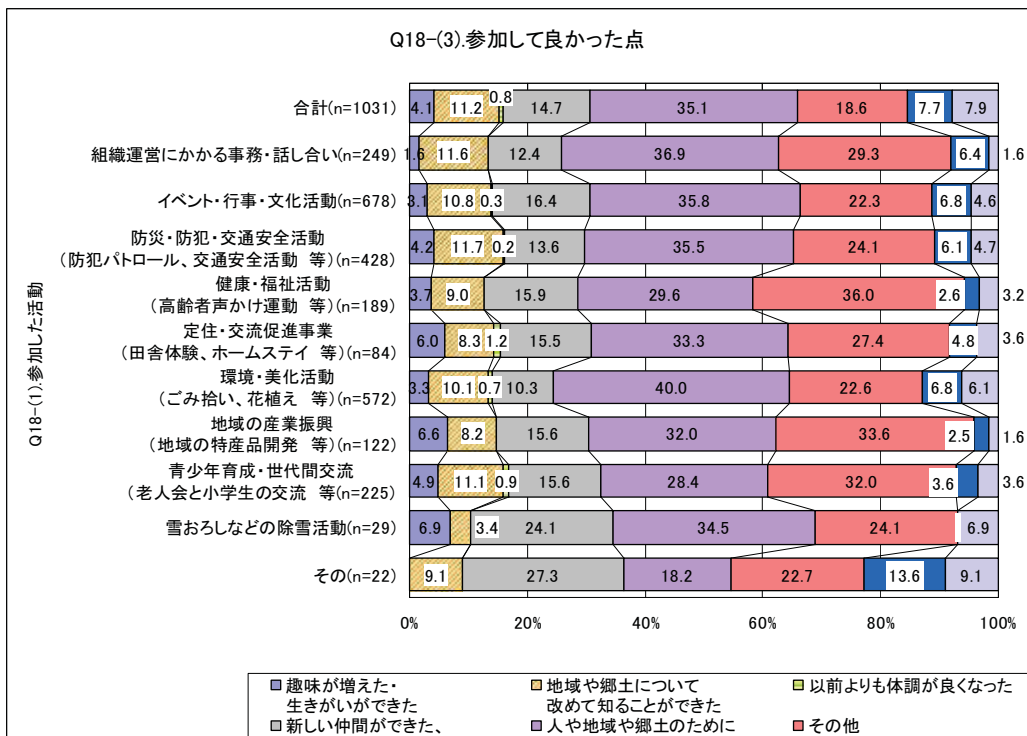
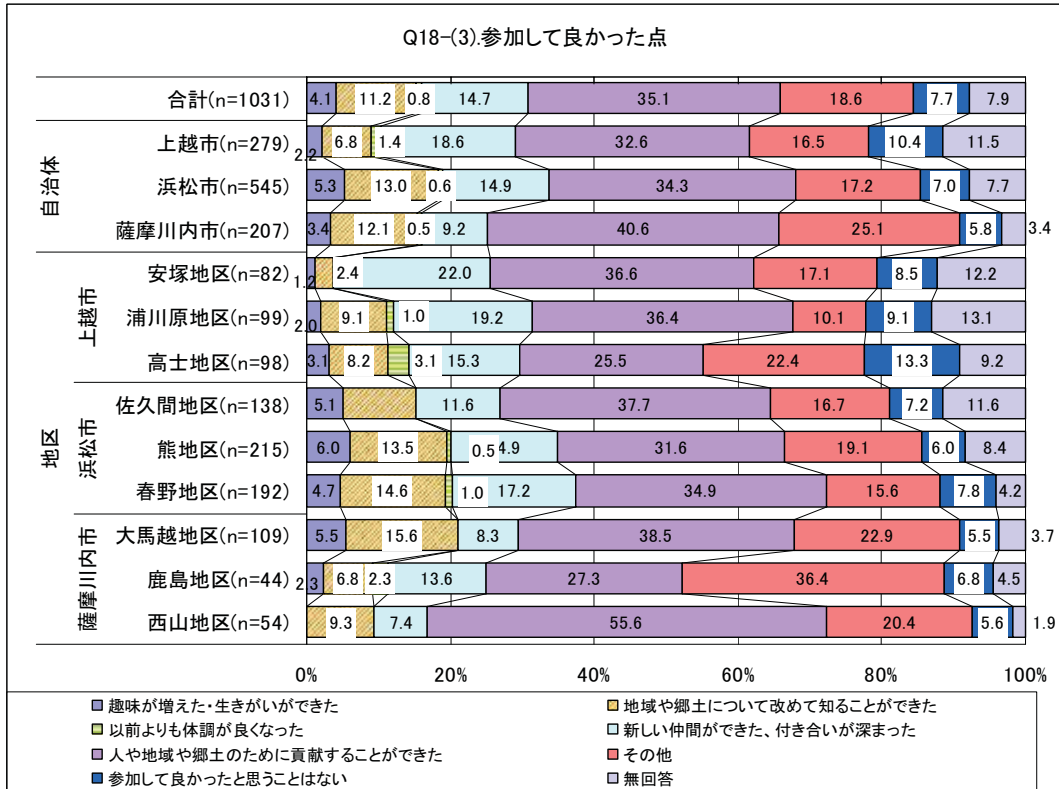
③-1-2 参加度合い

- ・ 上越市、浜松市、薩摩川内市大馬越地区では「年に1,2回ぐらい」との回答が約半数あったが、薩摩川内市鹿島地区、西山地区では、「月に1~2回」との回答が約半数、「週に1,2回」との回答が約1割と、参加度合いが高かった。
- ・ 参加した活動内容との関係で見ると、「健康・福祉活動」、「組織運営にかかる事務・話し合い」、「定住・交流促進事業」、「地域の産業振興」などに参加している人が、比較的参加度合いが高かった。



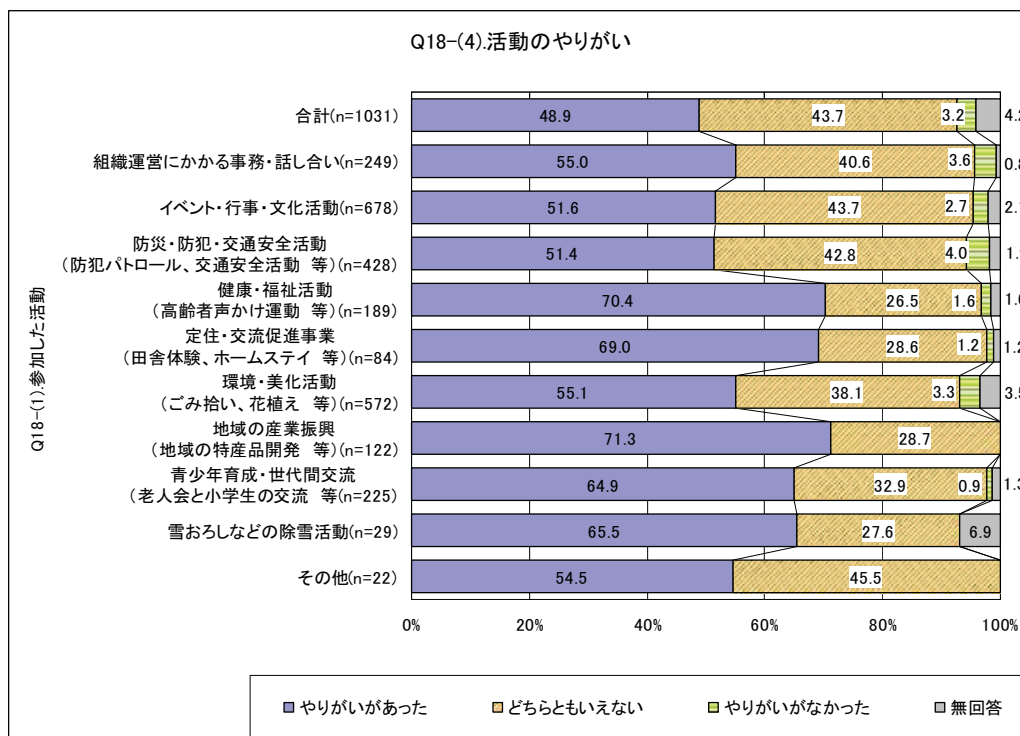
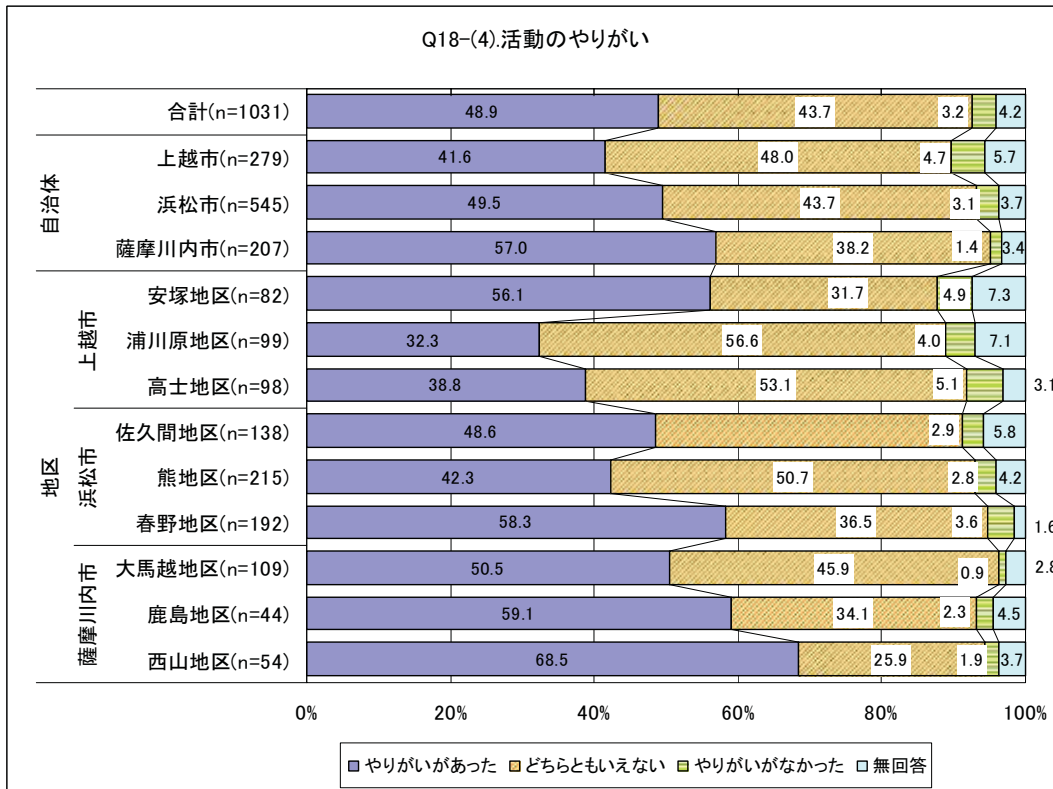
③-1-3 参加してよかった点

- ・ 「人や地域や郷土のために貢献することができた」との回答が最も多くなっており、次いで「新しい仲間ができた、付き合いが深まった」、「地域や郷土について改めて知ることができた」との回答であった。
- ・ 参加した活動内容との関係では、大きな傾向の差はみられなかった。



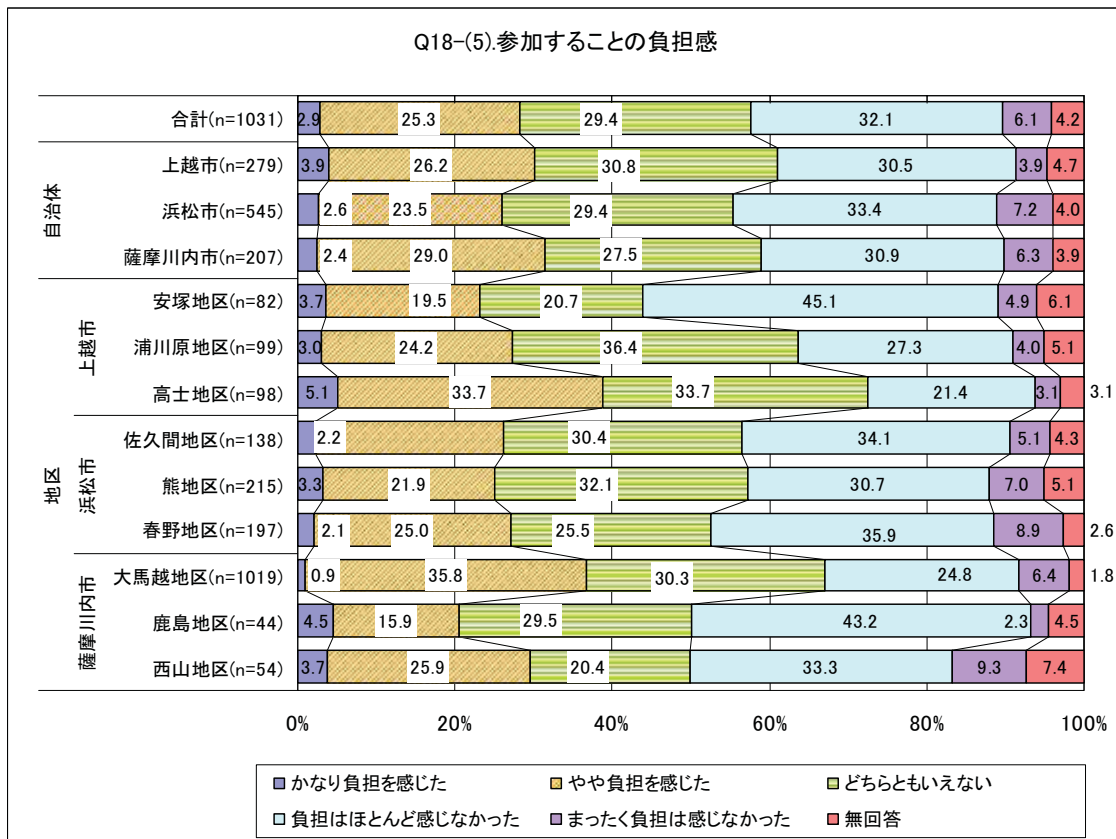
③-1-4 活動のやりがい

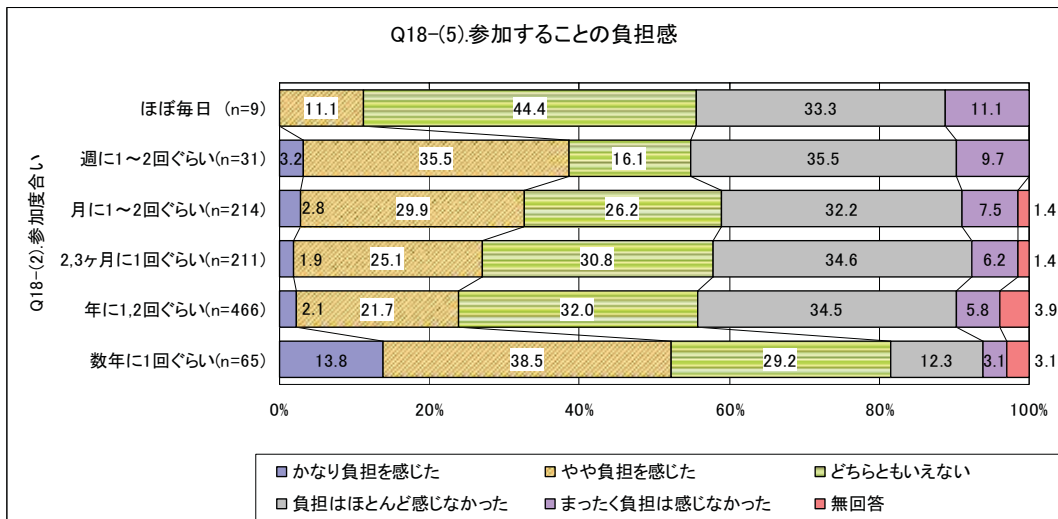
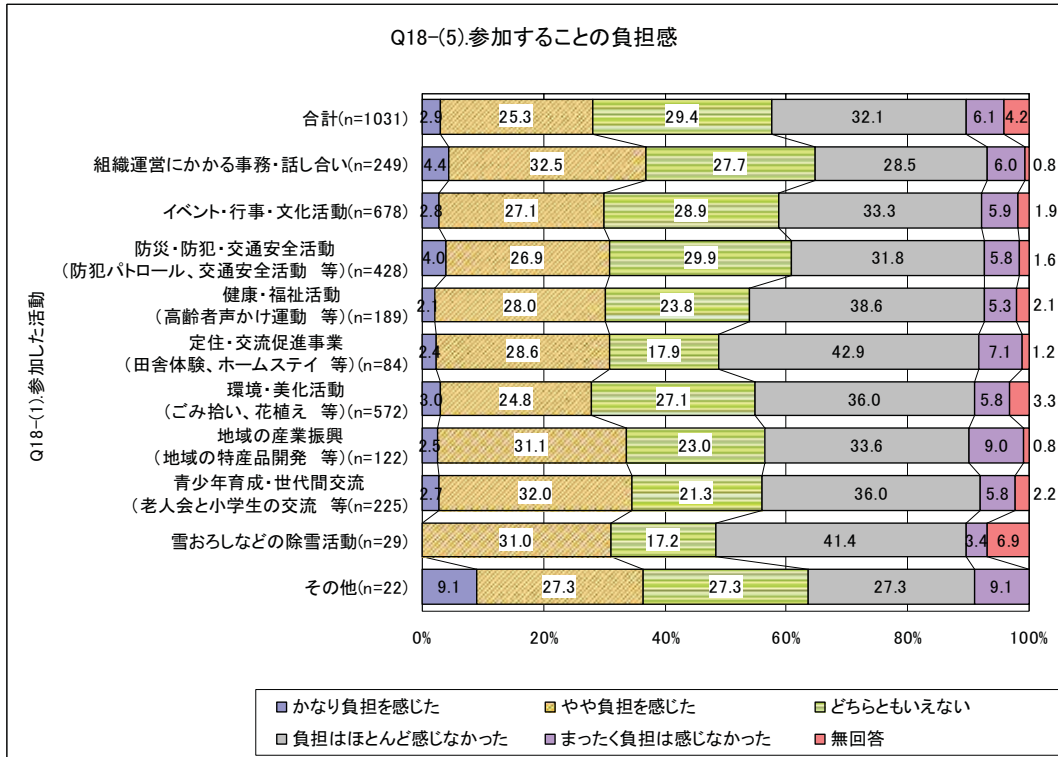
- ・ 活動のやりがいについては、薩摩川内市、浜松市、上越市の順に「やりがいがあった」との回答が多くみられた。「やりがいなかった」との回答はいずれの地区でも少なかった。
- ・ 参加した活動内容との関係では、多少の差はあったもののいずれの活動についても「やりがいがあった」との回答が過半数を超えており、「やりがいなかった」との回答は少なかった。



③-1-5 参加の負担感

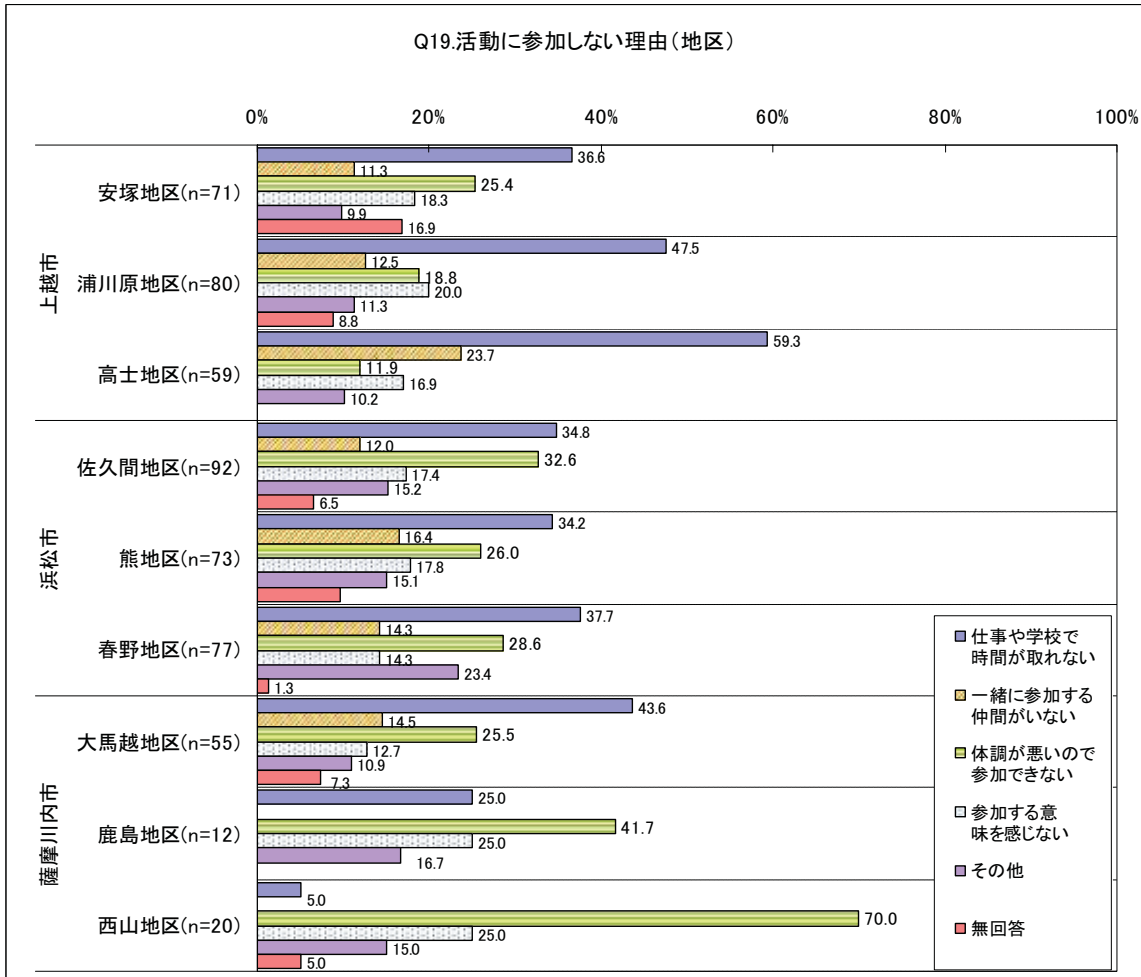
- 全体で見ると、「かなり負担を感じた」「やや負担を感じた」との回答が3割弱、「負担はほとんど感じなかった」「まったく負担は感じなかった」との回答が4割弱であり、負担を感じないとの回答が若干上回った。地区別には、上越市安塚地区では負担を感じなかったとの回答が他地区に比べて多く、上越市高士地区、薩摩川内市大馬越地区で負担を感じたとの回答が多くみられた。
- 参加した活動内容との関係では、大きな差はみられなかった。
- 参加度合いとの関係では、参加の度合いが大きいほど負担を感じたとの回答が多い傾向にあったが、一方で、「ほぼ毎日」参加している人は負担を感じたとの回答が少なく、「数年に1回くらい」の人は参加している人が負担を感じたとの回答が多くみられた。





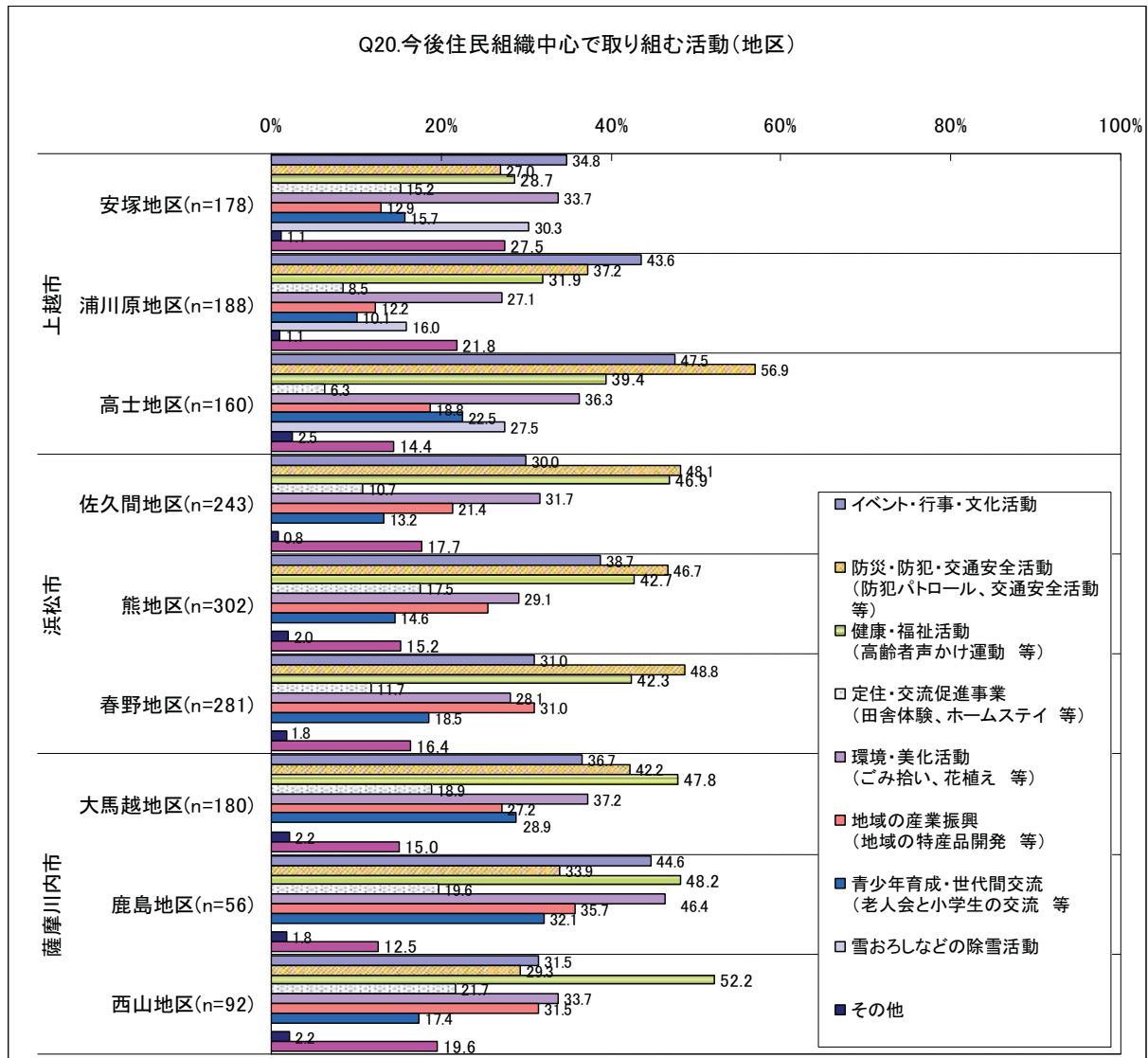
③-2 参加しない理由

- 上越市、浜松市、薩摩川内市大馬越地区では会社員が多かったために「仕事や学校で時間がとれない」との回答が最も多くみられたが、高齢者が多い薩摩川内市鹿島地区、西山地区では、「体調が悪いので参加できない」との回答が多くみられた。



④今後 NPO や町内会等の住民組織が取り組むべき活動

- 自治体、地区によって差があり、上越市では「イベント・行事・文化活動」は、浜松市では「防災・防犯・交通安全活動」、薩摩川内市では「健康・福祉活動」が多い傾向にあった。

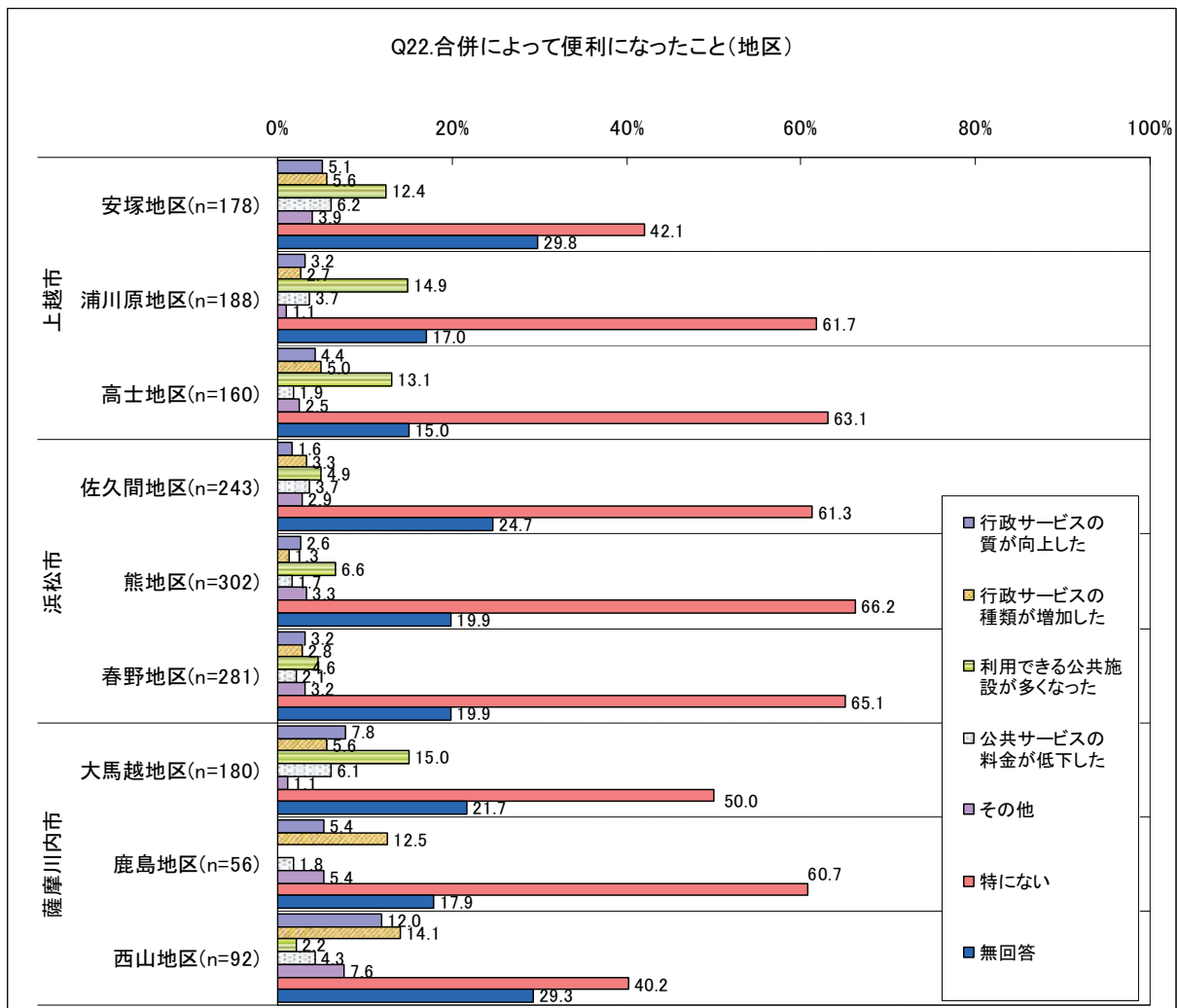


(6) 市町村合併による影響

- ・ 市町村合併によって便利になったことがないとの回答が多い。便利になったとの回答の中では、上越市は利用できる公共施設の数の増加、薩摩川内市はサービスの質の向上を挙げる回答が多かった。
- ・ 市町村合併によって不便になったこととしては、地域の要望が通りにくい、行政窓口が遠くなったとの回答が多かった。
- ・ 市内中心部との格差ができることや行政サービス水準の低下を不安に挙げている回答が多かった。

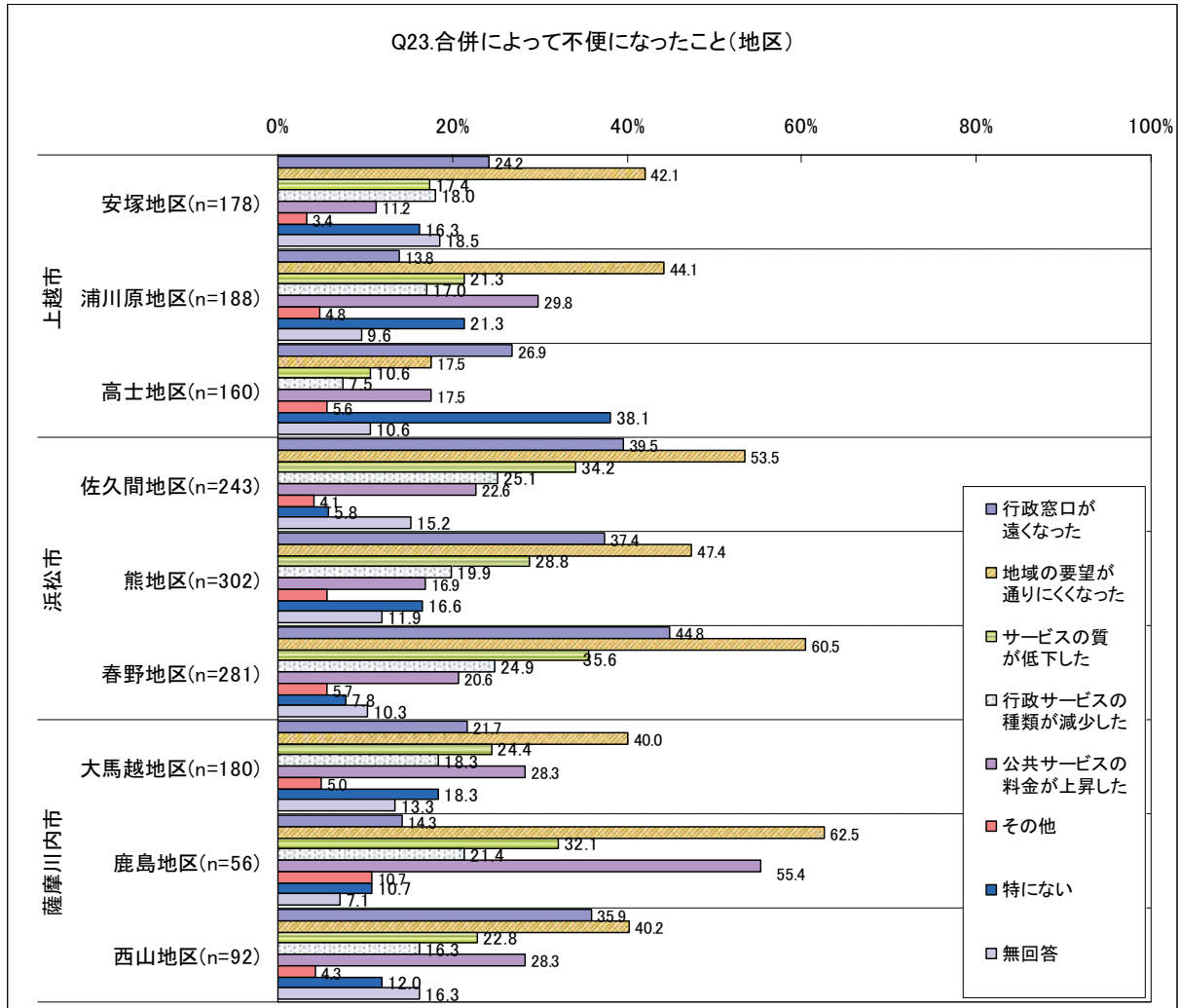
①便利になったこと

- ・ いずれの地区でも「特にない」との回答が多くなっている。
- ・ 上越市で「利用できる公共施設が多くなった」とのハード面を挙げる回答が、薩摩川内市では「行政サービスの質が向上した」とソフト面を挙げる回答が多い傾向にあった。



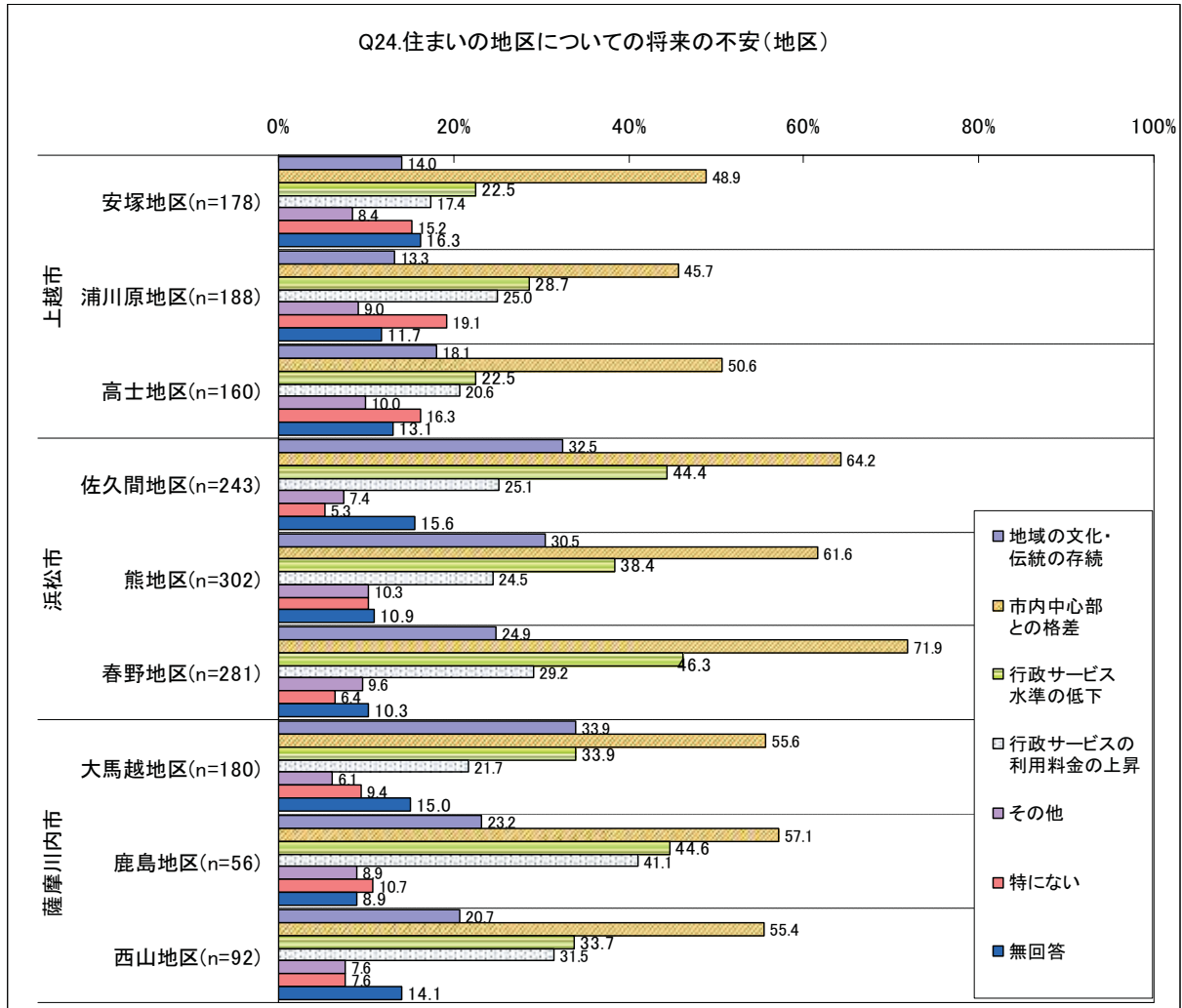
②不便になったこと

- 上越市高土地区以外の地区で「地域の要望が通りにくくなった」との回答が最も多く、このほか「行政窓口が遠くなった」「サービスの質が低下した」「公共サービスの料金が上昇した」との回答も多かった。浜松市では「行政窓口が遠くなった」との回答が特に多く、薩摩川内市鹿島地区では「公共サービスの料金が上昇した」との回答が過半数と他の地区より多くみられた。



③居住地域についての将来の不安

- いずれの地区も「市内中心部との格差」との回答が多くなっており、特に浜松市で多かった。次いで「行政サービスの水準の低下」との回答が多くみられた。



「地域における生活機能に関する住民アンケート調査」のお願い

みずほ情報総研株式会社

新潟県上越市

調査委託：国土交通省

【ご回答にあたって】

1. 調査の趣旨

みずほ情報総研(株)では、国土交通省からの委託により、人口減少・大合併時代における**地方の農山漁村地域の維持を担う組織およびその活動のあり方**について調査を行っております。本アンケート調査は、調査モデル都市となった上越市・安塚区の一部の住民の方々の生活サービスに関する満足度や要望、日常生活の行動圏域、地域活動への参加意向を把握することで、農山漁村地域において NPO 等の住民組織が生活サービス提供の活動を行う際の活動方法（活動内容、対象とする範囲など）の参考とすることを目的として実施するものです。

2. 回答の対象

この調査は上越市企画・地域振興部のご協力を得て実施しております。アンケート用紙は、同じものが3通同封されています。世帯の人数に応じて下表の通り回答してください。さまざまな世代の方の意見をお聞きしたいため、**できるだけ世代の離れた方が回答**してください。回答の**対象は高校生以上**です。

世帯の人数 (高校生以上 の人数)	回答者数	注意事項
1人	1人が回答	記載していない調査票は同封せずに捨ててください。
2人	なるべく2人が回答	
3人	なるべく3人が回答	
4人以上		できるだけ世代が離れるように回答者を選んでください。

3. 返信期限、方法

記入した調査票のみを封筒に入れて返信してください。**お手元に届いてから1週間以内を目安に、なるべくお早目に投函してください。**（郵便料金はかかりません）

4. 問い合わせ先など

アンケートの回答方法等についてのお問合せは、下記担当者までお願いいたします。ご回答いただいた内容は統計的に処理をしますので、個々の回答内容がそのまま公表されることはございません。また、この結果を本調査以外の目的に使用することも一切ありません。ご協力よろしくお願いいたします。

5. 問い合わせ先

みずほ情報総研(株) 社会経済コンサルティング部 社会マネジメントチーム

「地域における生活機能に関する住民アンケート調査」担当: 藤井・金澤・熊谷・村井

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町2-3

電話 03-5281-5404、ファックス 03-5281-5443

「地域における生活機能に関する住民アンケート調査」調査票

①	上越市	安塚区
---	-----	-----

太枠内 の該当する選択肢の番号に○をつけてください。

問 1. ご回答いただいているあなたご自身についてお答えください。(○は1つ)

(Q1) 年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70才以上
(Q2) 性別	1. 男性 2. 女性
(Q3) 職業	1. 学生 2. 会社員 3. 自営商工業 4. 農林水産業 5. 公務員・団体職員 6. 無職 7. 専業主婦・主夫 8. パート・アルバイト 9. その他 ()
(Q4) (ご自身も含む) 同居家族の人数	1. 1人暮らし 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上
(Q5) 地区内の居住歴	1. 5年未満 2. 5～9年 2. 10～19年 3. 20～39年 4. 40年以上
(Q6) 今後の居住予定	1. 今後ずっと住み続ける予定 2. 他地域へ転居する予定がある 3. 具体的予定はないが他地域へ転居したい 4. わからない

問 2. 交通手段の利用状況、公共交通の利便性についてお答えください。(○は1つ)

(Q7) 最も利用する交通手段	1. 徒歩・自転車 2. 自分が運転する車 3. 家族が運転する車 4. 近隣の方の車に同乗 5. バス 6. 鉄道 7. タクシー 9. その他 ()				
(Q8) Q7 で選択した交通手 段を利用する頻度	1. ほぼ毎日 2. 週3～5回 3. 週に1～2回 4. 月に2,3回 5. 月に1回 6. 2,3ヶ月に1回 7. ほとんど利用(移動)しない				
(Q9) 地域内の公共交通の利 便性	(Q9-1)バス	1. 便利	2. やや便利	3. やや不便	4. 不便
	(Q9-2)鉄道	1. 便利	2. やや便利	3. やや不便	4. 不便

問 3. 日常生活の行動範囲についてお答えください。(○は1つ)

(Q10) 日常生活でよく利 用する施設の位置	(Q10-1)買物	1. 徒歩の範囲(自宅から1km以内) 2. 町内会区域内 3. 旧安塚町内 4. 上越市内 5. 上越市外
	(Q10-2)病院	1. 徒歩の範囲(自宅から1km以内) 2. 町内会区域内 3. 旧安塚町内 4. 上越市内 5. 上越市外
	(Q10-3) 通勤・通学	1. 徒歩の範囲(自宅から1km以内) 2. 町内会区域内 3. 旧安塚町内 4. 上越市内 5. 上越市外 6. 通勤・通学はしていない

問4. 日常生活する上での満足度(生活機能・サービスの面から)についてお答えください。

<p>(Q11) 安塚区における生活機能・サービスの満足度 ※ ○は1つ</p>	(Q11-1) 買物	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-2) 医療 (病院)	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-3) 福祉・介護	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-4) 公共交通	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-5) 文化・教育 (図書館等)	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-6) 除雪 (道路及び宅内)	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
<p>(Q12) ※Q11で、 「3. やや不満」 又は「4. 不満」 を回答した方 にお聞きします。 生活機能・サービスでどのようなことが不満ですか ※ ○はいくつでも</p>	(Q12-1) 買物	1. 交通不便なところにある 2. お店がない・数が少ない 3. 品揃えが不十分 4. 品物の質が不十分 5. 価格が高い 6. その他 ()			
	(Q12-2) 医療 (病院)	1. 交通不便なところにある 2. 施設がない・数が少ない 3. 総合病院が近くにない 4. 診療可能な科目が限られている 5. その他 ()			
	(Q12-3) 福祉・介護	1. 交通不便なところにある 2. 施設がない・数が少ない 3. サービスの種類が少ない 4. サービスの質が不十分 5. 利用料金が高い 6. その他 ()			
	(Q12-4) 公共交通	1. バス停・駅が不便なところにある 2. 路線がない 3. 運行本数が少ない 4. 乗り継ぎが悪い 5. 料金が高い 6. その他 ()			
	(Q12-5) 文化・教育 (図書館等)	1. 交通不便なところにある 2. 施設がない・数が少ない 3. サービスの量が不十分 4. サービスの質が不十分 5. 料金が高い 6. その他 ()			
	(Q12-6) 除雪 (道路及び宅内)	1. 除雪回数が少ない 2. 1回の除雪量が不十分 3. 料金が高い 4. その他 ()			
<p>(Q13) 地域に今後充実させることが必要だと思ふ生活機能・サービスはどれですか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 交通・移動サービス 2. 配食サービス 3. 保育サービス 4. 介護サービス 5. 独居高齢者の見守りサービス 6. 緊急通報サービス 7. インターネットやケーブルテレビの接続サービス 8. 除雪サービス 9. その他 () 10. 特にない</p>				
<p>(Q14) お住まいの集落で現在実施している共同作業はどれですか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 農作業 2. 冠婚葬祭 3. 山林・農地の管理 4. 集会場の管理 5. 道路などの維持管理 6. 伝統行事・祭りやイベント 7. その他 () 8. 特にない</p>				

問5. NPO 雪のふるさと安塚等が行う地域づくり活動についてお答えください。

<p>(Q15) この組織をご存知ですか ※ ○は1つ</p>	<p>1. 知っている 2. 知らない</p>										
<p>(Q16) 地域の情報は何かから得ていますか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 回覧板 2. NPO 雪のふるさと安塚の配布物 3. 市の広報誌 4. 市や組織のホームページ 5. 新聞 6. テレビ・ケーブルテレビ 7. 集落内の掲示板・案内板 8. その他 ()</p>										
<p>(Q17) 活動に参加したことはありますか ※ ○は1つ</p>	<p>1. 参加したことがある 2. 参加したことはない ⇒2. に○を付けた方は Q19 にお進みください ※NPO 雪のふるさと安塚が行う活動に限らず、町内会等が行う活動も含まれます。</p>										
<p>(Q18) ※Q17 で「1. <u>参加したことがある</u>」を回答した方にお聞きします</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="333 692 619 1227"> <p>(Q18-1) これまでどのような活動に参加されましたか ※ ○はいくつでも</p> </td> <td data-bbox="619 692 1497 1227"> <p>1. 組織運営にかかる事務・話し合い 2. イベント・行事・文化活動 3. 防災・防犯・交通安全活動 (防犯パトロール、交通安全活動 等) 4. 健康・福祉活動 (高齢者声かけ運動 等) 5. 定住・交流促進事業 (田舎体験、ホームステイ 等) 6. 環境・美化活動 (ごみ拾い、花植え 等) 7. 地域の産業振興 (地域の特産品開発 等) 8. 青少年育成・世代間交流 (老人会と小学生の交流 等) 9. 雪おろしなどの除雪活動 10. その他 ()</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 1227 619 1395"> <p>(Q18-2) どのくらい参加していますか ※ ○は1つ</p> </td> <td data-bbox="619 1227 1497 1395"> <p>1. ほぼ毎日 2. 週に1~2回ぐらい 3. 月に1~2回ぐらい 4. 2,3ヶ月に1回ぐらい 5. 年に1,2回ぐらい 6. 数年に1回ぐらい</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 1395 619 1742"> <p>(Q18-3) 参加して良かった点はありますか ※ ○は1つ</p> </td> <td data-bbox="619 1395 1497 1742"> <p>1. 趣味が増えた・生きがいがあった 2. 郷土について改めて知ることができた 3. 以前よりも体調が良くなった 4. 新しい仲間ができた、付き合いが深まった 5. 人や郷土のために貢献することができた 6. その他 () 7. 参加して良かったと思うことはない</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 1742 619 1910"> <p>(Q18-4) 活動にやりがいがありましたか ※ ○は1つ</p> </td> <td data-bbox="619 1742 1497 1910"> <p>1. やりがいがあった 2. どちらともいえない 3. やりがいがなかった</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="333 1910 619 2145"> <p>(Q18-5) 参加することは負担に感じましたか ※ ○は1つ</p> </td> <td data-bbox="619 1910 1497 2145"> <p>1. かなり負担を感じた 2. やや負担を感じた 3. どちらともいえない 4. 負担はほとんど感じなかった 5. まったく負担は感じなかった</p> </td> </tr> </table>	<p>(Q18-1) これまでどのような活動に参加されましたか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 組織運営にかかる事務・話し合い 2. イベント・行事・文化活動 3. 防災・防犯・交通安全活動 (防犯パトロール、交通安全活動 等) 4. 健康・福祉活動 (高齢者声かけ運動 等) 5. 定住・交流促進事業 (田舎体験、ホームステイ 等) 6. 環境・美化活動 (ごみ拾い、花植え 等) 7. 地域の産業振興 (地域の特産品開発 等) 8. 青少年育成・世代間交流 (老人会と小学生の交流 等) 9. 雪おろしなどの除雪活動 10. その他 ()</p>	<p>(Q18-2) どのくらい参加していますか ※ ○は1つ</p>	<p>1. ほぼ毎日 2. 週に1~2回ぐらい 3. 月に1~2回ぐらい 4. 2,3ヶ月に1回ぐらい 5. 年に1,2回ぐらい 6. 数年に1回ぐらい</p>	<p>(Q18-3) 参加して良かった点はありますか ※ ○は1つ</p>	<p>1. 趣味が増えた・生きがいがあった 2. 郷土について改めて知ることができた 3. 以前よりも体調が良くなった 4. 新しい仲間ができた、付き合いが深まった 5. 人や郷土のために貢献することができた 6. その他 () 7. 参加して良かったと思うことはない</p>	<p>(Q18-4) 活動にやりがいがありましたか ※ ○は1つ</p>	<p>1. やりがいがあった 2. どちらともいえない 3. やりがいがなかった</p>	<p>(Q18-5) 参加することは負担に感じましたか ※ ○は1つ</p>	<p>1. かなり負担を感じた 2. やや負担を感じた 3. どちらともいえない 4. 負担はほとんど感じなかった 5. まったく負担は感じなかった</p>
<p>(Q18-1) これまでどのような活動に参加されましたか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 組織運営にかかる事務・話し合い 2. イベント・行事・文化活動 3. 防災・防犯・交通安全活動 (防犯パトロール、交通安全活動 等) 4. 健康・福祉活動 (高齢者声かけ運動 等) 5. 定住・交流促進事業 (田舎体験、ホームステイ 等) 6. 環境・美化活動 (ごみ拾い、花植え 等) 7. 地域の産業振興 (地域の特産品開発 等) 8. 青少年育成・世代間交流 (老人会と小学生の交流 等) 9. 雪おろしなどの除雪活動 10. その他 ()</p>										
<p>(Q18-2) どのくらい参加していますか ※ ○は1つ</p>	<p>1. ほぼ毎日 2. 週に1~2回ぐらい 3. 月に1~2回ぐらい 4. 2,3ヶ月に1回ぐらい 5. 年に1,2回ぐらい 6. 数年に1回ぐらい</p>										
<p>(Q18-3) 参加して良かった点はありますか ※ ○は1つ</p>	<p>1. 趣味が増えた・生きがいがあった 2. 郷土について改めて知ることができた 3. 以前よりも体調が良くなった 4. 新しい仲間ができた、付き合いが深まった 5. 人や郷土のために貢献することができた 6. その他 () 7. 参加して良かったと思うことはない</p>										
<p>(Q18-4) 活動にやりがいがありましたか ※ ○は1つ</p>	<p>1. やりがいがあった 2. どちらともいえない 3. やりがいがなかった</p>										
<p>(Q18-5) 参加することは負担に感じましたか ※ ○は1つ</p>	<p>1. かなり負担を感じた 2. やや負担を感じた 3. どちらともいえない 4. 負担はほとんど感じなかった 5. まったく負担は感じなかった</p>										

<p>(Q19) ※Q17で「2. 参加したことはない」を回答した方にお聞きします</p>	<p>活動に参加しない理由は何ですか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 仕事や学校で時間が取れない 2. 一緒に参加する仲間がいない 3. 体調が悪いので参加できない 4. 参加する意味を感じない 5. その他()</p>
<p>(Q20) 地域で今後、NPO や町内会等の住民の組織が中心となって取り組むべきと思われる活動は何ですか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. イベント・行事・文化活動 2. 防災・防犯・交通安全活動 (防犯パトロール、交通安全活動 等) 3. 健康・福祉活動 (高齢者声かけ運動 等) 4. 定住・交流促進事業 (田舎体験、ホームステイ 等) 5. 環境・美化活動 (ごみ拾い、花植え 等) 6. 地域の産業振興 (地域の特産品開発 等) 7. 青少年育成・世代間交流 (老人会と小学生の交流 等) 8. 雪おろしなどの除雪活動 9. その他()</p>	
<p>(Q21) NPO 雪のふるさと安塚の活動に対してご意見がありましたらご記入ください</p>	<p>()</p>	

問6. 市町村合併後の生活環境の変化についてお答えください。

<p>(Q22) 市町村合併によって便利になったことはありますか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 行政サービスの質が向上した 2. 行政サービスの種類が増加した 3. 利用できる公共施設が多くなった 3. 公共サービスの料金が低下した 4. その他() 5. 特にない</p>
<p>(Q23) 市町村合併によって不便になったことはありますか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 行政窓口が遠くなった 2. 地域の要望が通りにくくなった 3. サービスの質が低下した 4. 行政サービスの種類が減少した 5. 公共サービスの料金が上昇した 6. その他() 7. 特にない</p>
<p>(Q24) お住まいの地区についての将来の不安はありますか ※ ○はいくつでも</p>	<p>1. 地域の文化・伝統の存続 2. 市内中心部との格差 3. 行政サービス水準の低下 4. 行政サービスの利用料金の上昇 5. その他() 6. 特にない</p>

問7. 市が行っている地域自治(地域づくり、地域活性化)の取り組みに対して何かご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。